

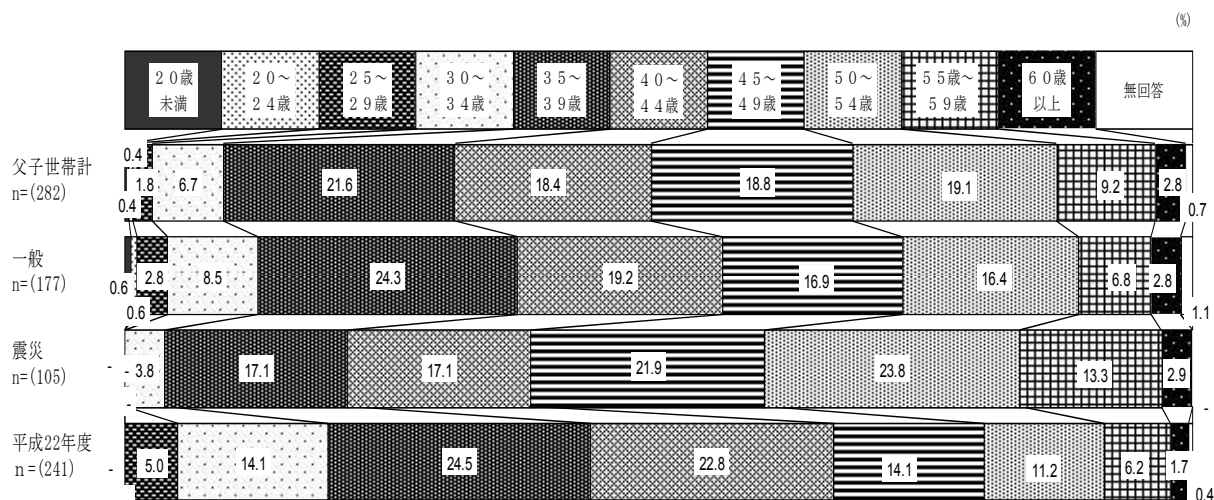
IV. 調査結果 父子世帯

(1) 本人および世帯の状況について

①年齢

質問1 あなたの現在（平成25年9月1日現在）の年齢は何歳ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]



		n=	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	無回答
平成25年度	父子世帯計	(282)	0.4	0.4	1.8	6.7	21.6	18.4	18.8	19.1	9.2	2.8	0.7
	一般	(177)	0.6	0.6	2.8	8.5	24.3	19.2	16.9	16.4	6.8	2.8	1.1
	震災	(105)	-	-	-	3.8	17.1	17.1	21.9	23.8	13.3	2.9	-
平成22年度	父子世帯計	(241)	-	-	5.0	14.1	24.5	22.8	14.1	11.2	6.2	1.7	0.4

■:上位1位 ▨:上位2位 ▤:上位3位の年代

現在の年齢については、父子世帯計、一般父子世帯では「35～39歳」（21～24%台）が、震災父子世帯では「50～54歳」（23.8%）が高く、次いで父子世帯計では「50～54歳」（19.1%）、一般父子世帯では「40～44歳」（19.2%）、震災父子世帯では「45～49歳」（21.9%）となっている。

一般父子世帯と震災父子世帯を比較すると「55～59歳」が2倍近いのが特徴的である。

平成22年度の調査と比較すると年齢が高めの年代が増加傾向にある。

IV. 調査結果 父子世帯

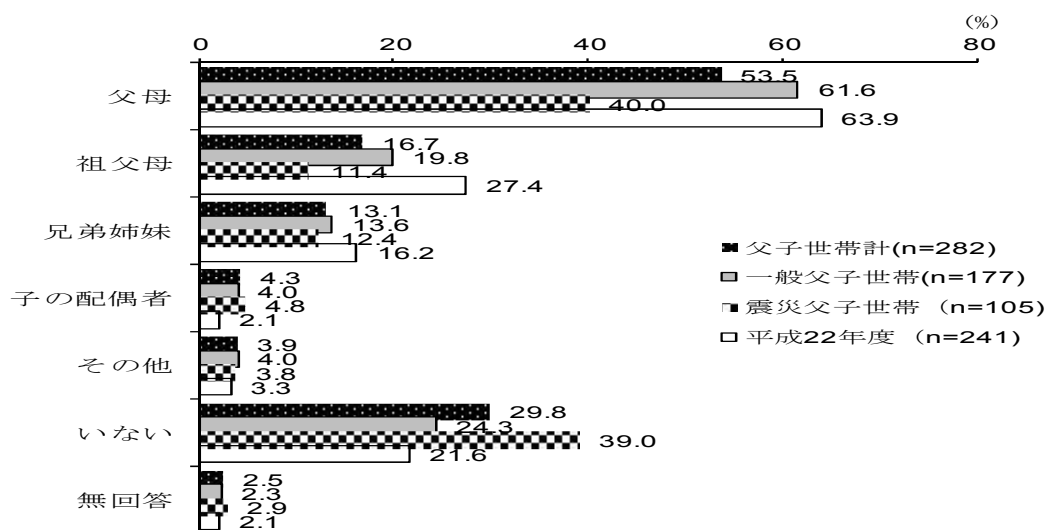
②同居している子ども以外の家族

質問2 同居している家族で、あなたの子どもさん以外は何人ですか。

[該当する番号すべてに○をつけ、それぞれ人数を()に記入してください。]

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上	いない	無回答
平成25年度	父子世帯計 (282)	75 26.6	77 27.3	26 9.2	6 2.1	7 2.5	84 29.8	7 2.5
	一般 (177)	42 23.7	59 33.3	18 10.2	5 2.8	6 3.4	43 24.3	4 2.3
	震災 (105)	33 31.4	18 17.1	8 7.6	1 1.0	1 1.0	41 39.0	3 2.9
平成22年度	父子世帯計 (241)	56 23.2	72 29.9	32 13.3	12 5.0	12 5.0	52 21.6	5 2.1

(上段：件数、下段：%)



※家族構成内訳 (複数回答)

(人)

		合計	父母	祖父母	兄弟姉妹	子の配偶者	その他
平成25年度	父子世帯計	258	151	47	37	12	11
	一般	182	109	35	24	7	7
	震災	76	42	12	13	5	4
平成22年度	父子世帯計	272	154	66	39	5	8

同居している子ども以外の家族の人数については、子ども以外では「いない」(29.8%)が最も多く、次いで「2人」(27.3%)、「1人」(26.6%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「いない」の割合が「震災世帯」の方が多い。

家族構成については、「父母」(53.5%)が最も多く、次いで、「いない」(29.8%)、「祖父母」(16.7%)「兄弟姉妹」(13.1%)となっている。「一般」、「震災」別では、「父母」「祖父母」「兄弟姉妹」の割合が「震災世帯」方が少ない。

前回調査との比較では、「いない」が増加、「父母」「祖父母」が減少しているのが特徴的である。

③生計を共にしている20歳未満の子ども

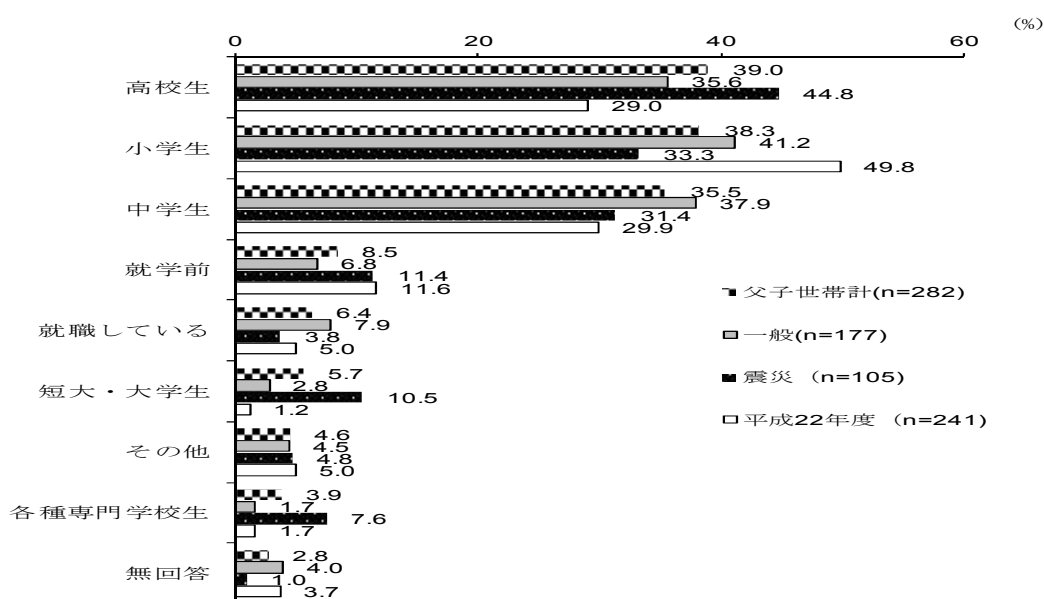
質問3 あなたと生計を共にしている20歳未満の子どもさんは何人ですか。

[該当する番号すべてに○をつけ、それぞれ人数を()に記入してください。]

※修学、修業等のため別居中であっても、授業料、生活費の送金等をしている生計を同じくしている人を含みます。

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成25年度	父子世帯計(282)	154 54.6	82 29.1	32 11.3	5 1.8	1 0.4	8 2.8
	一般(177)	93 52.5	52 29.4	21 11.9	3 1.7	1 0.6	7 4.0
	震災(105)	61 58.1	30 28.6	11 10.5	2 1.9	-	1 1.0
平成22年度	父子世帯計(241)	118 49.0	86 35.7	22 9.1	6 2.5	-	9 3.7

(上段：件数、下段：%)



※就学段階内訳 (複数回答)

		合計	就学前	小学生	中学生	高校生	各種 専門 学校生	短大 大学生	就職 している	その他
平成25年度	父子世帯計	400	24	108	100	110	11	16	18	13
	一般	245	12	73	67	63	3	5	14	8
	震災	155	12	35	33	47	8	11	4	5
平成22年度	父子世帯計	321	28	120	72	70	4	3	12	12

生計を共にしている20歳未満の子ども的人数については、「1人」(54.6%)が最も多く、次いで、「2人」(29.1%)、「3人」(11.3%)となっている。「一般」、「震災」別では、「1人」の割合は「震災世帯」の方が、「2人」「3人」の割合は「一般世帯」の方が多い。

子どもの就学段階については、「高校生」(39.0%)が最も多く、次いで、「小学生」(38.3%)、「中学生」(35.5%)、「就学前」(8.5%)となっている。「一般」、「震災」別では、「小学生」「中学生」は「一般世帯」が多く、「高校生」「短大・大学生」「各種専門学校生」は「震災世帯」が多い。

IV. 調査結果 父子世帯

④生計を共にしている20歳以上の子ども

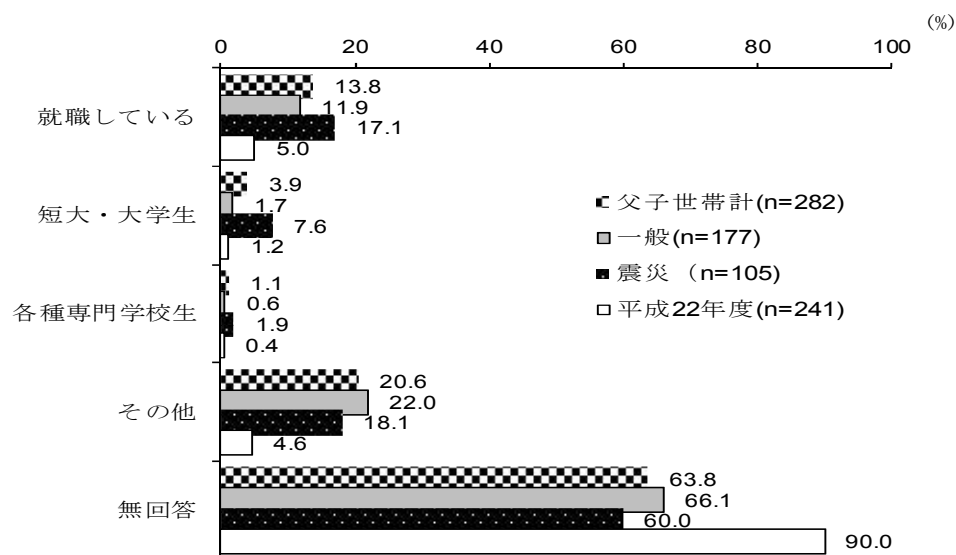
質問4 あなたと生計を共にしている20歳以上の子どもさんは何人ですか。

[該当する番号すべてに○をつけ、それぞれ人数を()に記入してください。]

※修学、修業等のため別居中であっても、授業料、生活費の送金等をしている生計を同じくしている人を含みます。

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成25年度	父子世帯計 (282)	86 30.5	12 4.3	1 0.4	3 1.1	-	180 63.8
	一般 (177)	51 28.8	7 4.0	-	2 1.1	-	117 66.1
	震災 (105)	35 33.3	5 4.8	1 1.0	1 1.0	-	63 60.0
平成22年度	父子世帯計 (241)	18 7.5	5 2.1	1 0.4	-	-	217 90.0

(上段：件数、下段：%)



※就学段階内訳 (複数回答)

		合計	各種 専門学校	短大 大学生	就職して いる	その他
平成25年度	父子世帯計	111	3	11	39	58
	一般	64	1	3	21	39
	震災	47	2	8	18	19
平成22年度	父子世帯計	27	1	3	12	11

生計を共にしている20歳以上の子どもの人数については、「1人」(30.5%)が最も多く、次いで、「2人」(4.3%)となっている。

子どもの就学段階については、「就職している」(13.8%)が最も多い。

⑤父子世帯となった理由

質問5 父子世帯になられたのはどのような理由からですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	病死	災害、 事故死	その他 死亡	離婚	未婚の父	遺棄	配偶者の 心身障害	家出、 行方不明	その他	無回答
平成25年度	父子世帯計	(282)	3.9	36.2	1.1	54.3	0.7	0.4	0.7	0.4	1.4	1.1
	一般	(177)	5.6	1.1	1.1	86.4	1.1	0.6	1.1	0.6	0.6	1.7
	震災	(105)	1.0	95.2	1.0	-	-	-	-	-	2.9	-
平成22年度	父子世帯計	(241)	7.5	0.4	0.8	88.4	0.4	-	0.4	1.7	0.4	-

■:上位1位 ■:上位2位 □:上位3位の理由

父子世帯となった理由については、「離婚」(54.3%)が最も多く、次いで、「災害、事故死」(36.2%)、「病死」(3.9%)となっている。「一般」、「震災」別では、当然の結果であるが、「震災世帯」は「災害、事故死」(95.2%)となっている。

⑥父子世帯になってからの年数

問6 父子世帯になられてから現在までの年数は何年ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	2年未満	2～5年 未満	5～8年 未満	8～11 年未満	11～15 年未満	15～18 年未満	18～20 年未満	20年 以上	無回答
平成25年度	父子世帯計	(282)	7.1	51.1	14.5	17.4	6.4	1.4	0.7	-	1.4
	一般	(177)	11.3	22.0	23.2	27.7	10.2	2.3	1.1	-	2.3
	震災	(105)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
平成22年度	父子世帯計	(241)	13.7	27.4	23.7	22.0	10.4	2.1	0.4	0.4	-

■:上位1位 ■:上位2位 □:上位3位の年数

父子世帯になってからの年数については、「2～5年未満」(51.1%)が最も多く、次いで、「8～11年未満」(17.4%)、「5～8年未満」(14.5%)、「2年未満」(7.1%)となっている。

IV. 調査結果 父子世帯

⑦-1 父子世帯になった当時困ったこと

質問7 父子世帯になった当時、最も困ったことは何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	子どもの世話や教育	その他	無回答
平成25年度	父子世帯計	(282)	20.9	8.9	3.9	13.8	2.1	6.0	39.0	3.2	2.1
	一般	(177)	27.7	11.9	-	7.9	2.3	6.2	40.7	1.1	2.3
	震災	(105)	9.5	3.8	10.5	23.8	1.9	5.7	36.2	6.7	1.9
平成22年度	父子世帯計	(241)	35.3	13.3	0.4	9.5	1.7	4.1	32.8	2.1	0.8

■:上位1位 〇:上位2位 ∴:上位3位の困りごと等

父子世帯になった当時困ったことについては、「子どもの世話や教育」(39.0%)が最も多く、次いで、「生活費」(20.9%)、「家事」(13.8%)となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」上位3位の「住居」(10.5%)が「一般世帯」は(0%)であるのが特徴的である。

⑦-2 父子世帯になった当時困ったこと<家族形態別>

(%)

		n=	生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	子どもの世話や教育	その他	無回答	
父子世帯	父子世帯計	(282)	20.9	8.9	3.9	13.8	2.1	6.0	39.0	3.2	2.1	
		(198)	20.2	7.6	4.0	10.6	2.5	7.1	42.4	3.0	2.5	
		(84)	22.6	11.9	3.6	21.4	1.2	3.6	31.0	3.6	1.2	
	一般	一般計	(177)	27.7	11.9	-	7.9	2.3	6.2	40.7	1.1	2.3
		核家族以外	(134)	26.1	9.7	-	6.7	2.2	7.5	43.3	1.5	3.0
		核家族	(43)	32.6	18.6	-	11.6	2.3	2.3	32.6	-	-
	震災	震災計	(105)	9.5	3.8	10.5	23.8	1.9	5.7	36.2	6.7	1.9
		核家族以外	(64)	7.8	3.1	12.5	18.8	3.1	6.3	40.6	6.3	1.6
		核家族	(41)	12.2	4.9	7.3	31.7	-	4.9	29.3	7.3	2.4

■:父子世帯計より5%以上高い項目
 〇:父子世帯計より5%以上低い項目
 ()内の数字は各項目の順位(各世帯毎)

家族形態別では、すべての世帯類型において、「家事」は「核家族」の方が高く、特に「震災」の「核家族」世帯は3割を超え、「父子世帯計」を大きく上回っている。

⑦-3 父子世帯になった当時困ったこと<未就学児、小学生の有無別>

			(%)									
			生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	子どもの世話や教育	その他	無回答	
n=												
父子世帯	父子世帯計	父子世帯計	(282)	20.9 (2)	8.9 (4)	3.9 (6)	13.8 (3)	2.1 (8)	6.0 (5)	39.0 (1)	3.2 (7)	2.1
		未就学児、小学生あり	(123)	19.5 (2)	12.2 (3)	3.3 (6)	9.8 (4)	1.6 (8)	4.1 (5)	44.7 (1)	3.3 (6)	1.6
		未就学児、小学生なし	(159)	22.0 (2)	6.3 (5)	4.4 (6)	17.0 (3)	2.5 (8)	7.5 (4)	34.6 (1)	3.1 (7)	2.5
	一般	一般計	(177)	27.7 (2)	11.9 (3)	- (8)	7.9 (4)	2.3 (6)	6.2 (5)	40.7 (1)	1.1 (7)	2.3
		未就学児、小学生あり	(79)	25.3 (2)	15.2 (3)	- (8)	6.3 (4)	1.3 (6)	5.1 (5)	45.6 (1)	1.3 (6)	-
		未就学児、小学生なし	(98)	29.6 (2)	9.2 (3)	- (8)	9.2 (3)	3.1 (6)	7.1 (5)	36.7 (1)	1.0 (7)	4.1
	震災	震災計	(105)	9.5 (4)	3.8 (7)	10.5 (3)	23.8 (2)	1.9 (8)	5.7 (6)	36.2 (1)	6.7 (5)	1.9
		未就学児、小学生あり	(44)	9.1 (3)	6.8 (5)	9.1 (3)	15.9 (2)	2.3 (7)	2.3 (7)	43.2 (1)	6.8 (5)	4.5
		未就学児、小学生なし	(61)	9.8 (4)	1.6 (7)	11.5 (3)	29.5 (2)	1.6 (7)	8.2 (5)	31.1 (1)	6.6 (6)	-

父子世帯計より5%以上高い項目
 父子世帯計より5%以上低い項目
 ()内の数字は各項目の順位(各世帯毎)

「未就学児、小学生の有無別」では、すべての世帯類型の「未就学児、小学生あり」世帯で「子どもの世話や教育」の割合が「未就学児、小学生なし」世帯を上回っている。「一般」、「震災」別では、「一般」の「未就学児、小学生あり」世帯の「子どもの世話や教育」「仕事」、「震災」の「未就学児、小学生なし」の「住居」「家事」が「父子世帯計」より高くなっている。

IV. 調査結果 父子世帯

⑧東日本大震災前の住居状況

質問8 東日本大震災前の住居の状況は何ですか。
 [該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	持ち家 (分譲マンションを含む)	父母等の 家に同居	借家(民間の借家・アパート・賃貸マンション)	公営・公社・公団の賃貸住宅	間借り	会社の社宅等	その他	無回答
平成25年度	父子世帯計	(282)	45.0	34.0	13.1	4.6	0.7	1.8	0.4	0.4
	一般	(177)	33.3	44.6	13.0	5.6	0.6	1.7	0.6	0.6
	震災	(105)	64.8	16.2	13.3	2.9	1.0	1.9	-	-
平成22年度	父子世帯計	(241)	36.9	45.6	12.0	2.9	2.1	-	-	0.4

■:上位1位 ▨:上位2位 ▩:上位3位の住居形態

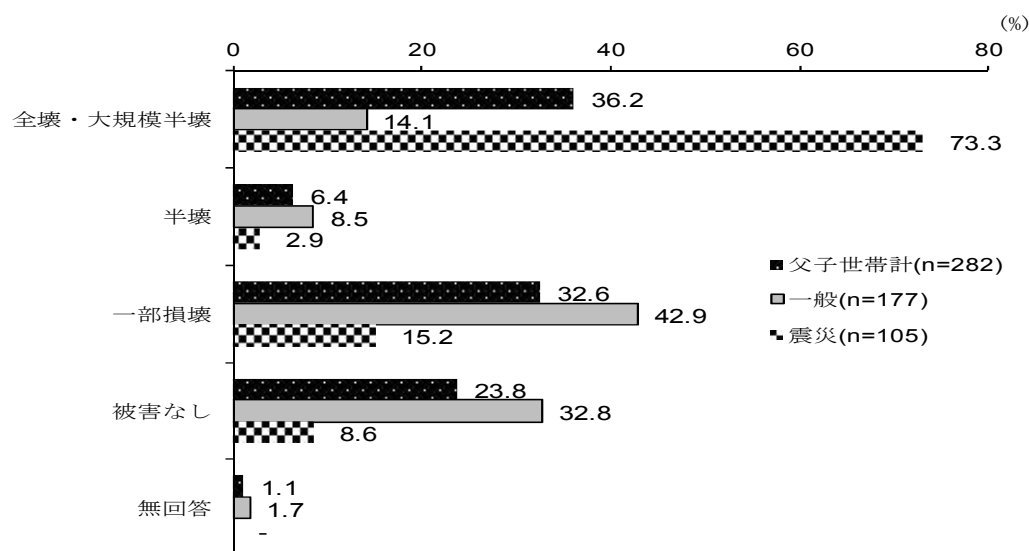
東日本大震災前の住居の状況は、「持ち家（分譲マンションを含む）」（45.0%）が最も多く、ついで、「父母等の家に同居」（34.0%）、「借家（民間の借家・アパート・賃貸マンション）」（13.1%）、「公営・公社・公団の賃貸住宅」（4.6%）となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「持ち家(分譲マンションを含む)」は6割を超えていた。

前回調査(あなたの住居の状況は何ですか。)と今回調査「父子世帯計」を比較すると、今回調査は「持ち家(分譲マンションを含む)」が多く、「父母の家に同居」が少ない。

⑨東日本大震災による住居の被害状況

質問9 東日本大震災前の住居は、被害がありましたか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

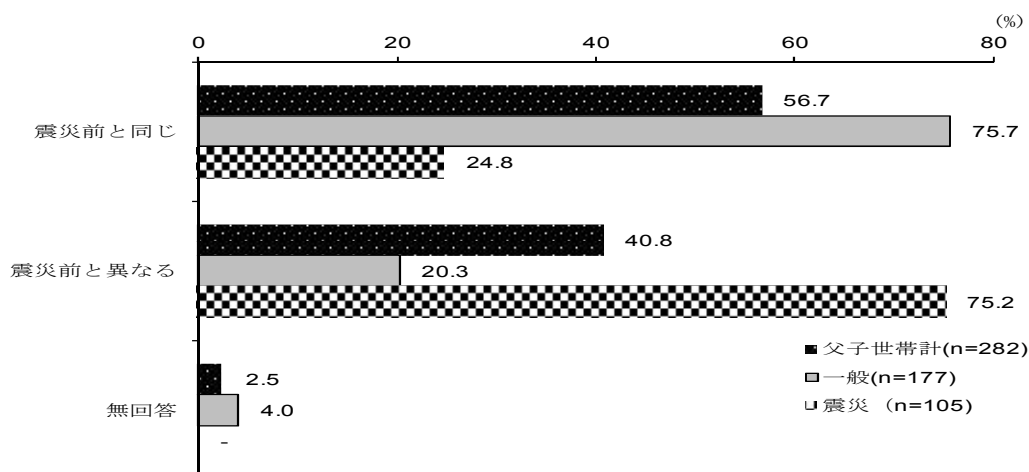


東日本大震災による住居の被害状況は全体では「全壊・大規模半壊」が36.2%と最も多く、以下、「一部損壊」(32.6%)、「被害なし」(23.8%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の7割が「全壊・大規模半壊」であった。

⑩東日本大震災前後の住居の変化

質問10 現在の住居は、東日本大震災の前と後では異なりますか。異なる場合はどのような状況ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]



東日本大震災前後の住居の変化では、全体では「震災前と同じ」が56.7%、「震災前と異なる」が40.8%と4割に住居の変更があった。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の7割強が「震災前と異なる」としている。

⑪東日本大震災後の住居状況

質問 11 あなたの東日本大震災後の住居の状況は何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	持ち家を 再建・購 入した	仮設住 宅・みな し 仮設住宅	災害 公営住宅	父母や親 族等の家 に同居	借家(民間 の借家・ア パート・賃 貸マンショ ン)	公営・公 社・公団 の賃貸住 宅	間借り	会社の社 宅等	その他	無回答
平成25年度	父子世帯計	(115)	18.3	45.2	1.7	18.3	9.6	2.6	-	0.9	3.5	-
	一般	(36)	11.1	33.3	2.8	27.8	11.1	2.8	-	2.8	8.3	-
	震災	(79)	21.5	50.6	1.3	13.9	8.9	2.5	-	-	1.3	-

■:上位1位 ■■■:上位2位 ■■■■:上位3位の住居形態

東日本大震災前と現在で住居が異なる人に現在の住居を尋ねたところ、全体では「仮設住宅・みなし仮設住宅」が45.2%と最も多く、次いで「持ち家を再建・購入した」「父母や親族等の家に同居」18.3%、「借家（民間の借家・アパート・賃貸マンション）」9.6%の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「持ち家を再建・購入した」「仮設住宅・みなし仮設住宅」10～17%程度「一般世帯」より多く、「父母や親族等の家に同居」は「一般世帯」より10%以上少ない。

(2) 就労・経済の状況について

① 勤労状況の変化

質問 12 父子世帯になったことで勤労の状況は変わりましたか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

		仕事は変わらない	同じ職場内で別の仕事に変わった	転職した	仕事を辞めた	仕事に就いた	その他	無回答
平成25年度	父子世帯計 (282)	62.4	5.3	21.3	6.0	2.1	2.1	0.7
	一般 (177)	60.5	4.5	24.3	6.2	1.7	1.7	1.1
	震災 (105)	65.7	6.7	16.2	5.7	2.9	2.9	-
平成22年度	父子世帯計 (241)	58.1	4.1	22.8	10.8	0.4	2.9	0.8

(%)

■:上位1位 ■■■:上位2位 ■■■■:上位3位の勤労の状況

勤労状況の変化については、全体で「仕事は変わらない」が62.4%で最も多く、次いで、「転職した」(21.3%)、「仕事を辞めた」(6.0%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「一般世帯」の「転職した」割合が「震災世帯」より高い。

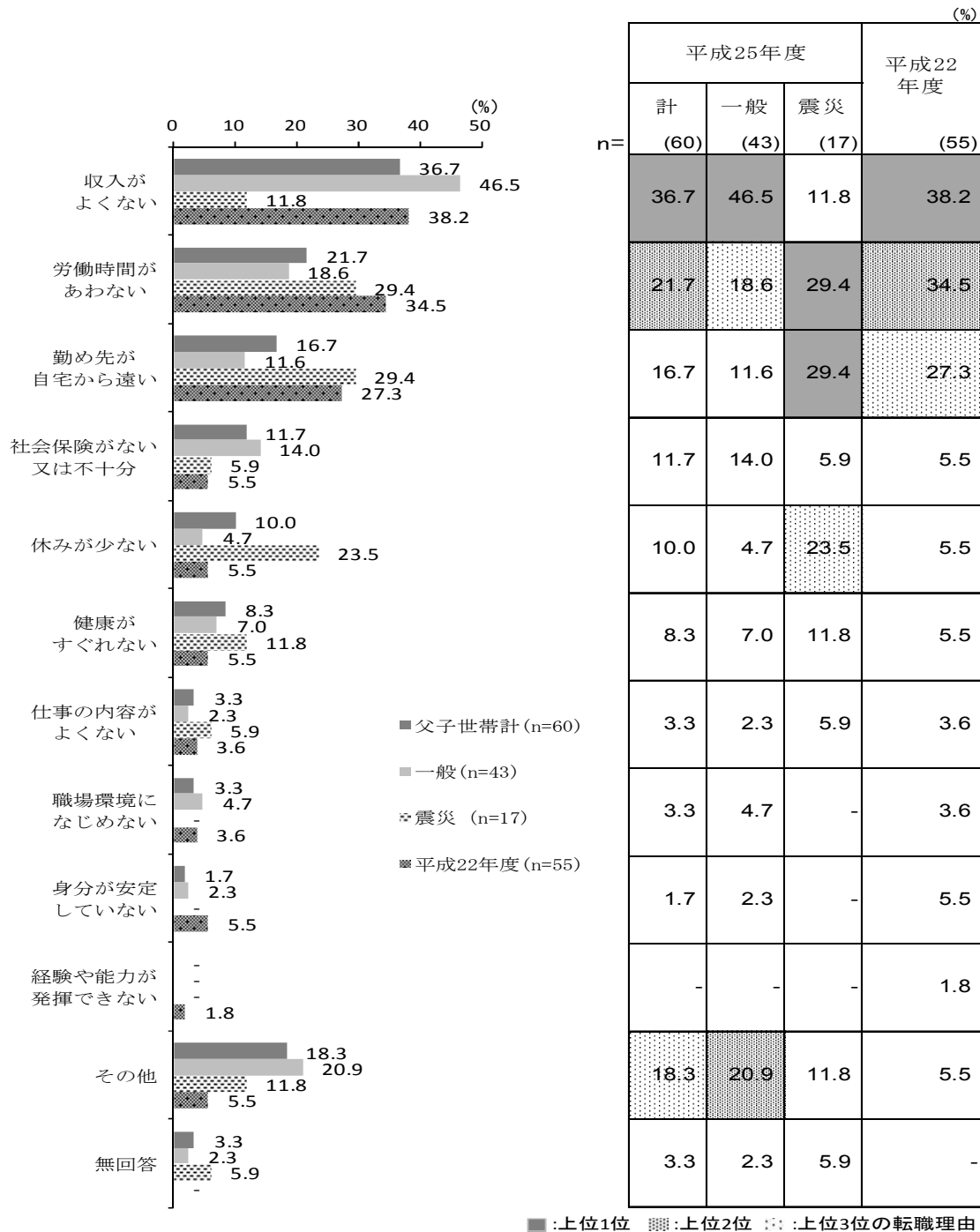
IV. 調査結果 父子世帯

②転職理由

【質問13は、質問12で「3. 転職した」とお答えの方にかがいます。】

質問13 転職した理由は何ですか。

〔該当する番号2つ以内（主なもの）に○をつけてください。〕



転職した理由については、全体で「収入がよくない」が36.7%で最も多く、以下、「労働時間があわない」(21.7%)、「その他」(18.3%)、「勤め先が自宅から遠い」(16.7%)の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」は17件とサンプル数が少ないが、3割近くが「労働時間があわない」「勤め先が自宅から遠い」を転職理由としている。

③勤労形態

質問 14 あなたの勤労形態は何ですか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

			(%)							
			自営業	常時雇用者	臨時雇用者 (パートを含む)	内職	家事手伝い	その他	無職	無回答
平成25年度	父子世帯計	(282)	13.8	68.8	8.2	-	-	3.9	4.6	0.7
	一般	(177)	16.9	65.0	9.0	-	-	4.0	4.0	1.1
	震災	(105)	8.6	75.2	6.7	-	-	3.8	5.7	-
平成22年度	父子世帯計	(241)	18.7	56.8	12.4	-	-	1.7	7.5	2.9

■:上位1位 ■:上位2位 □:上位3位の勤労形態

勤労形態については、全体で「常時雇用者」が 68.8% で最も多く、次いで「自営業」が 13.8%、「臨時雇用者 (パートを含む)」 8.2% の順となっている。「一般」、「震災」別では、「一般世帯」の「自営業」の割合が「震災世帯」より 2 倍近く高い、逆に「常時雇用者」の割合が少ない。

④仕事内容

【質問 15~18 は、質問 14 で 1~6 (「7. 無職」を除く) とお答えの方にうかがいます。】

質問 15 あなたの現在の仕事の内容は何ですか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

			(%)									
			専門的職業 (医師、看護師、保健師、保育士、教員など資格を有するもの)	管理的職業 (会社や団体の役員など)	事務 (一般事務のほか、外勤事務を含む)	販売 (商品の販売、店員、セールスなど)	運輸・通信 (職業運転士・同助手、荷役など運輸従事者、通信従事者)	農業、林業、漁業	技能職 (製造、加工、組立、建設、修理などの従事者)	サービス業 (飲食店、理容・美容など接客やサービス業従事者)	その他	無回答
平成25年度	父子世帯計	(267)	4.5	6.0	8.6	6.7	18.4	4.5	33.3	5.2	8.2	4.5
	一般	(168)	2.4	3.0	3.6	7.7	19.6	4.8	37.5	7.1	9.5	4.8
	震災	(99)	8.1	11.1	17.2	5.1	16.2	4.0	26.3	2.0	6.1	4.0
平成22年度	父子世帯計	(216)	4.2	2.8	3.2	8.8	15.3	11.1	37.5	5.6	1.9	9.7

■:上位1位 ■:上位2位 □:上位3位の仕事内容

仕事の内容については、全体で「技能職 (製造、加工、組立、建設、修理などの従事者)」が 33.3% と最も多く、次いで「運輸・通信 (職業運転士・同助手、荷役など運輸従事者、通信従事者)」 (18.4%)、「事務 (一般事務のほか、外勤事務を含む)」 (8.6%)、「その他」 (8.2%) の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」の方が、「事務 (一般事務のほか、外勤事務を含む)」の割合が多く、「一般世帯」の方が「技能職 (製造、加工、組立、建設、修理などの従事者)」の割合が高い。

IV. 調査結果 父子世帯

⑤仕事を探した方法

質問 16 あなたは、今の仕事をどのような方法で探しましたか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	公共職業安定所(ハローワーク)の紹介	ひとり親家庭支援員などの紹介	知人・友人などの紹介	家族や親族の紹介	学校からの紹介	企業の募集広告	新聞・チラシ、雑誌などの求人広告	探す必要はなかった	その他	無回答
平成25年度	父子世帯計	(267)	21.7	-	24.3	10.5	6.4	2.2	6.4	13.1	7.1	8.2
	一般	(168)	27.4	-	25.0	10.7	4.8	2.4	8.3	10.7	5.4	5.4
	震災	(99)	12.1	-	23.2	10.1	9.1	2.0	3.0	17.2	10.1	13.1
平成22年度	父子世帯計	(216)	19.0	-	26.4	11.1	7.9	2.8	6.0	13.9	7.4	5.6

■:上位1位 ■■■:上位2位 ■■■■:上位3位の仕事の探し方

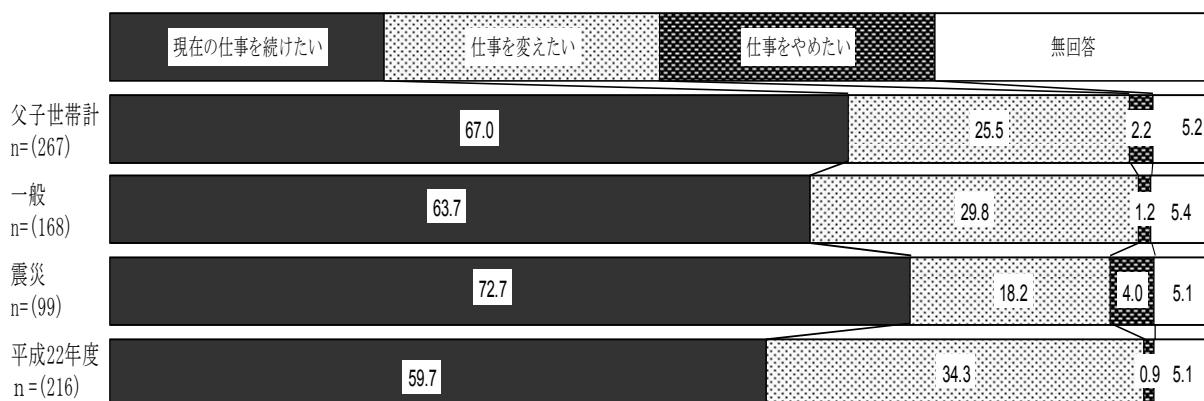
仕事を探した方法については、全体で「知人・友人などの紹介」(24.3%)が最も多く、次いで、「公共職業安定所(ハローワーク)の紹介」(21.7%)、「探す必要はなかった」(13.1%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「探す必要はなかった」が「一般」より多い。

⑥転職する希望

質問 17 あなたは現在、転職する希望がありますか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)



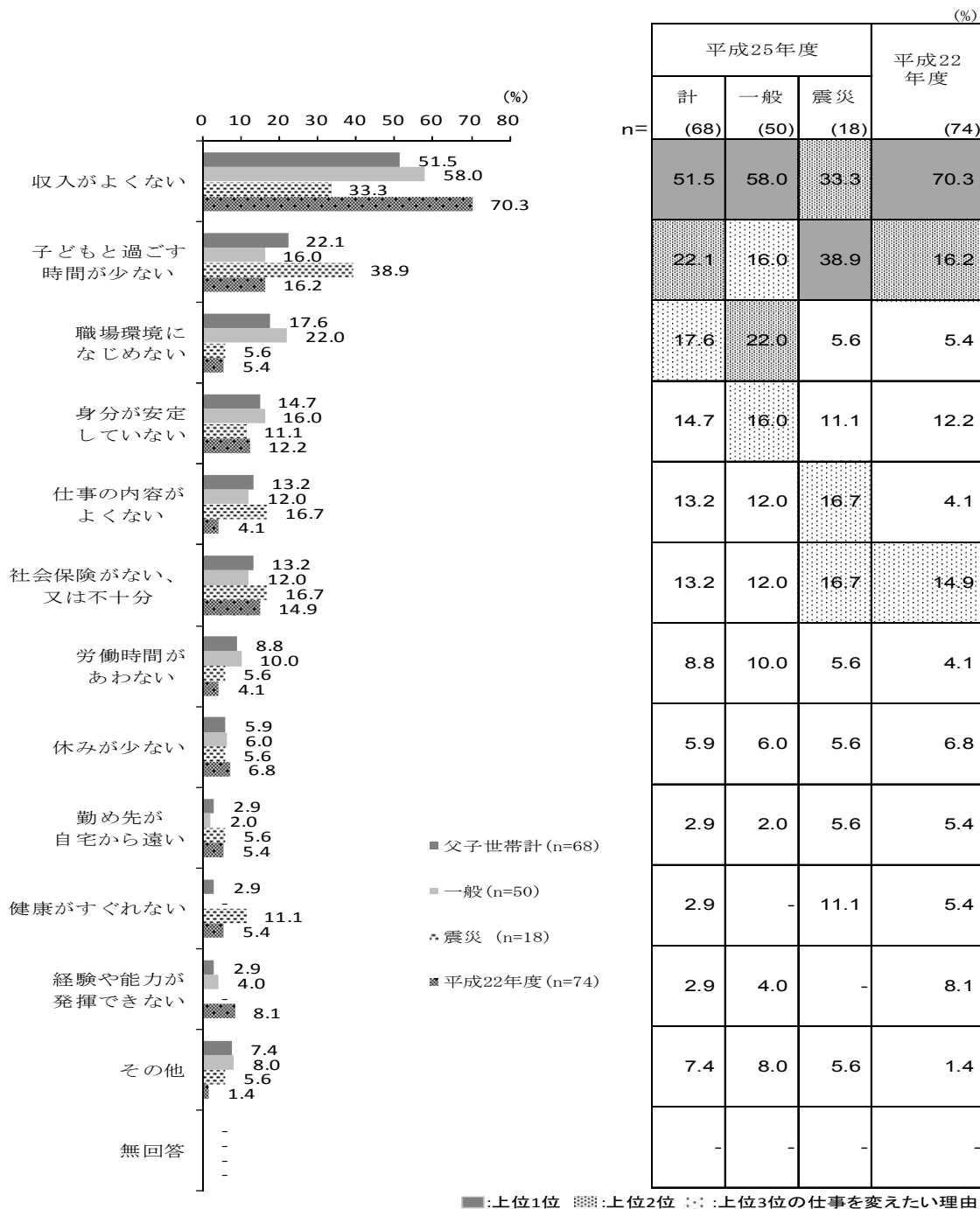
転職する希望については、全体では「現在の仕事を続けたい」が67.0%、「仕事を変えたい」が25.5%となっている。「一般」、「震災」別では、「一般世帯」の方が、「仕事を変えたい」の割合が「震災世帯」を10%ほど上回り、「震災世帯」の7割以上が「現在の仕事を続けたい」としている。

⑦仕事を变えたい理由

【質問18は、質問17で「2. 仕事を变えたい」とお答えの方にうかがいます。】

質問18 仕事を变えたい理由は何ですか。

[該当する番号2つ以内(主なもの)に○をつけてください。]



仕事を变えたい理由については、全体で「収入がよくない」(51.5%)が最も多く、以下、「子どもと過ごす時間が少ない」(22.1%)、「職場環境になじめない」(17.6%)「身分が安定してしない」(14.7%)となっている。該当する「震災世帯」18世帯の中では、「子どもと過ごす時間が少ない」が38.9%と最も多かった。

IV. 調査結果 父子世帯

⑧仕事に就かない理由

【質問 19 は、質問 14 で「7. 無職」とお答えの方にかがいます。】

質問 19 あなたが仕事に就かない（就けない）主な理由は何ですか。

[該当する番号 1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	自分が 病弱	子どもの 世話、 病気	他の家 族の世 話や介 護	適職がな い、勤務 条件が合 わない	働く必 要がな い	高齢の ため	就職のた めの技 能、技術 習得中	その他	就職は考 えて いない	無回答
平成25年度	父子世帯計	(13)	69.2	7.7	-	15.4	-	-	-	7.7	-	-
	一般	(7)	71.4	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	-
	震災	(6)	66.7	-	-	16.7	-	-	-	16.7	-	-
平成22年度	父子世帯計	(18)	16.7	-	-	66.7	-	-	11.1	5.6	-	-

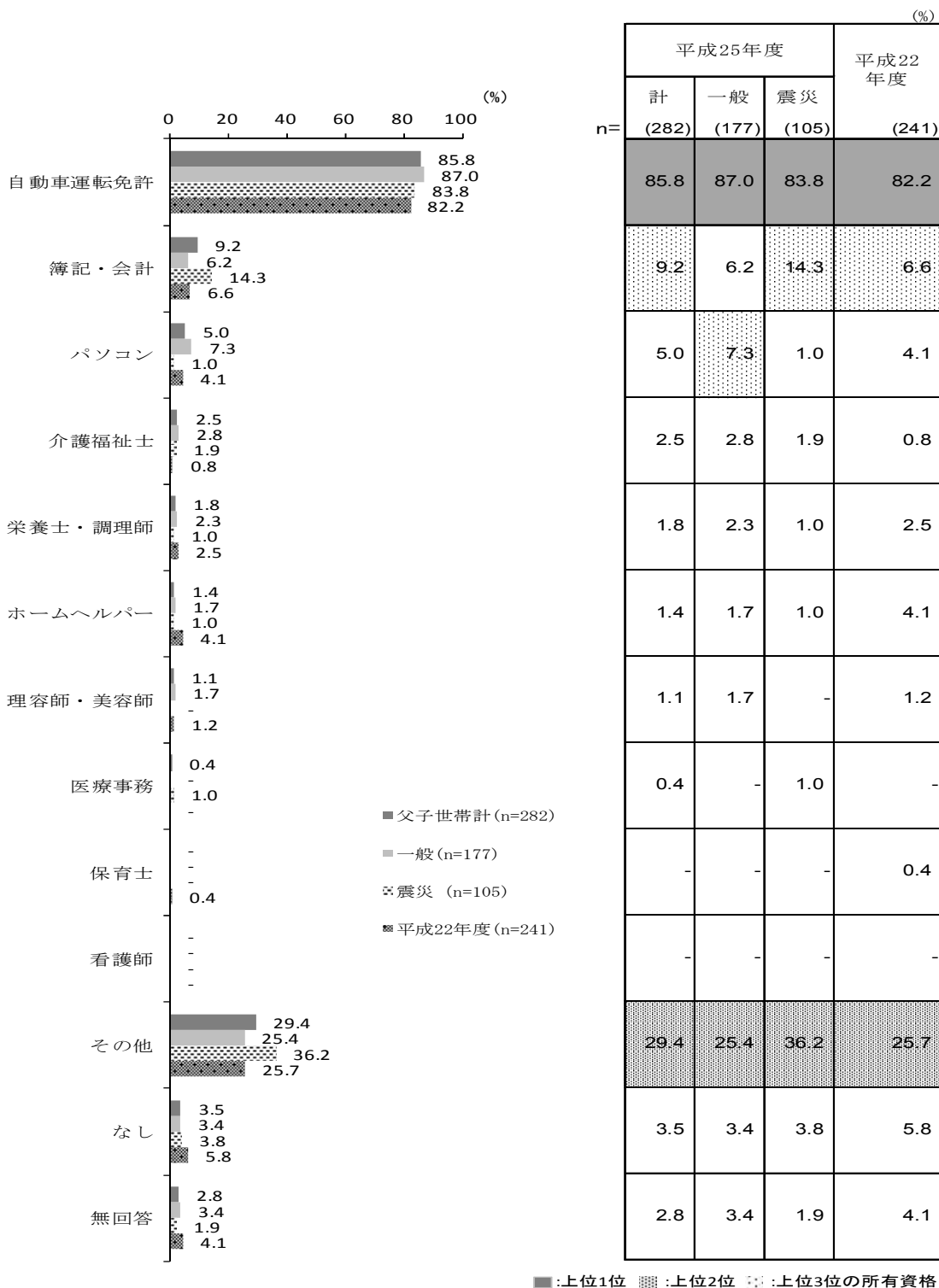
■:上位1位 ■■■:上位2位 ■■■■:上位3位の仕事に就けない理由

仕事に就かない理由については、全体では、「自分が病弱」が 69.2%と最も多く、次いで「適職がない、勤務条件が合わない」(15.4%)、「子どもの世話、病気」「その他」(7.7%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「子どもの世話、病気」は「一般世帯」が多く、「適職がない、勤務条件が合わない」や「その他」は「震災世帯」の方が多い。

⑨持っている資格

質問 20 あなたがお持ちの主な資格等は何ですか。

[該当する番号3つ以内(主なもの)に○をつけてください。]



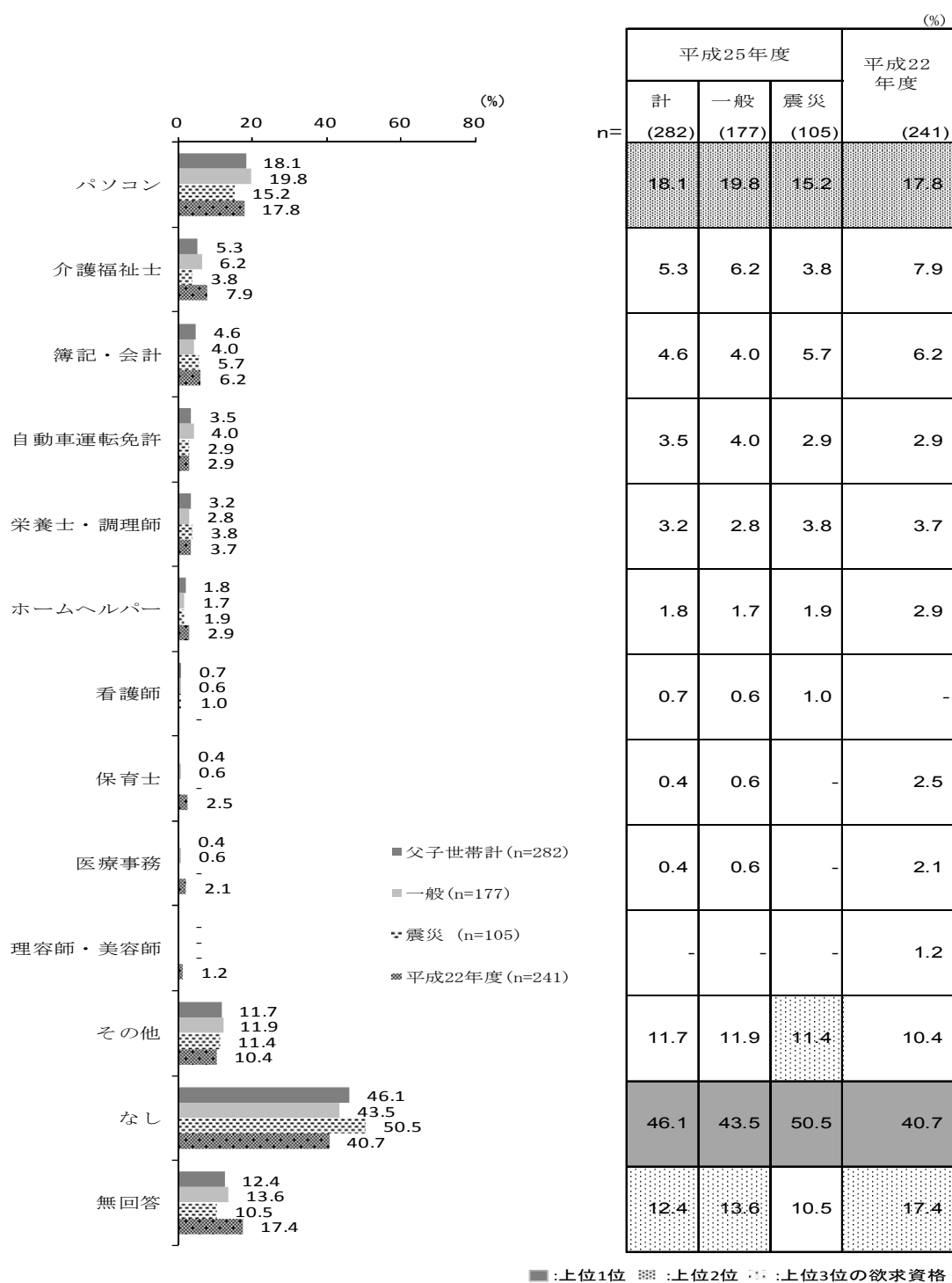
持っている資格については、「自動車運転免許」(85.8%)が最も多く、次いで「その他」(29.4%)、「簿記・会計」(9.2%)、「パソコン」(5.0%)となっている。「一般」、「震災」別では「簿記・会計」の割合が「震災世帯」の方が約2倍多い。

IV. 調査結果 父子世帯

⑩今後身につけたい資格・特技

質問 21 あなたが今後身につけたい資格、特技は何ですか。

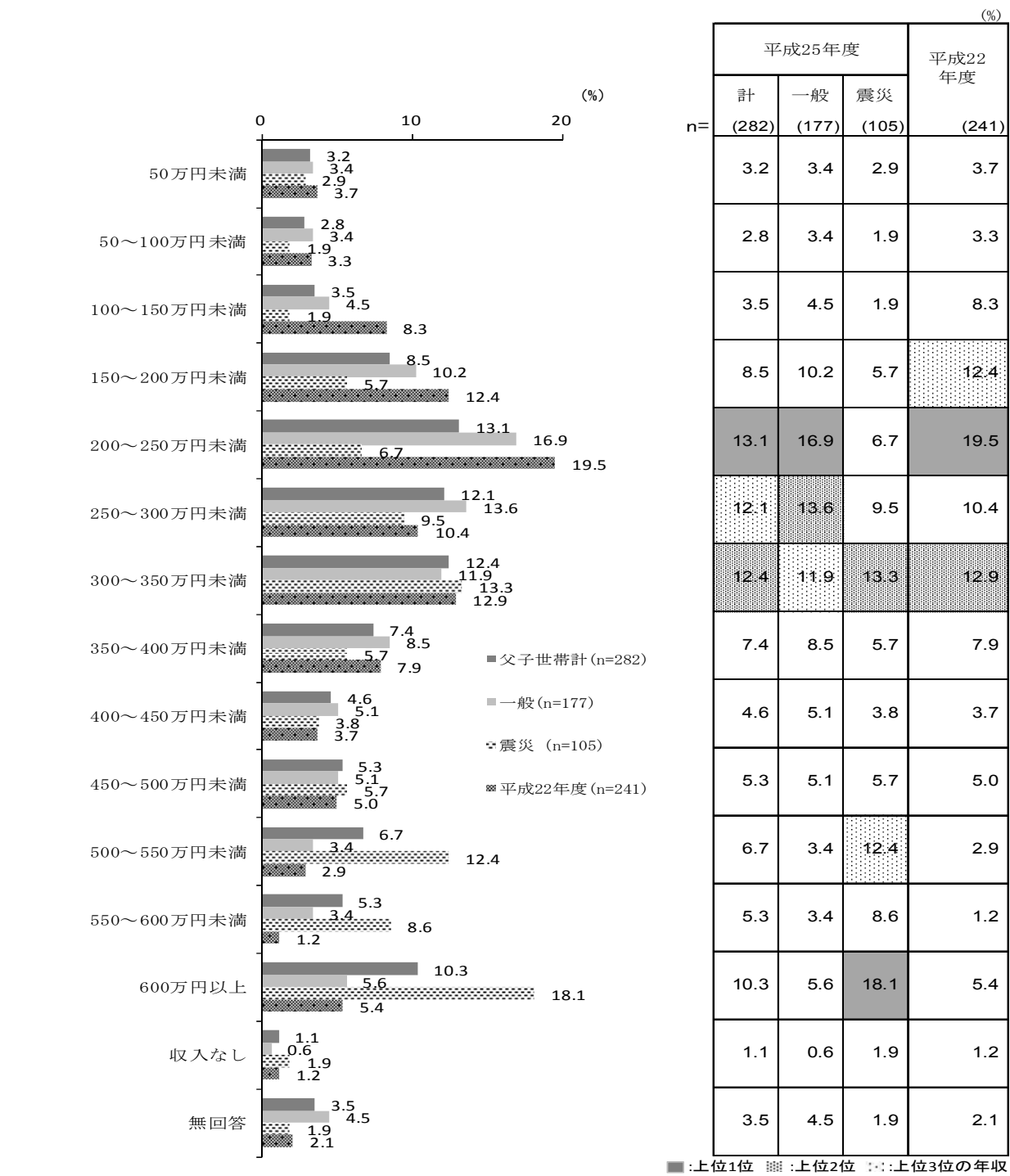
[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



今後身につけたい資格・特技については、「パソコン」が18.1%と最も多く、以下、「介護福祉士」(5.3%)、「簿記・会計」(4.6%)の順となっている。一方、「なし」は46.1%であった。「一般」、「震災」別では「震災世帯」の方が「なし」の割合が「一般世帯」より高い。

⑩年間収入

質問 22 あなたの世帯の平成 24 年の年間収入（税金等控除前）はどの位ですか（ボーナス、児童扶養手当、年金、養育費、仕送り等臨時収入を含む全世帯員の合計額）。
 [該当する番号 1 つに○をつけてください。]



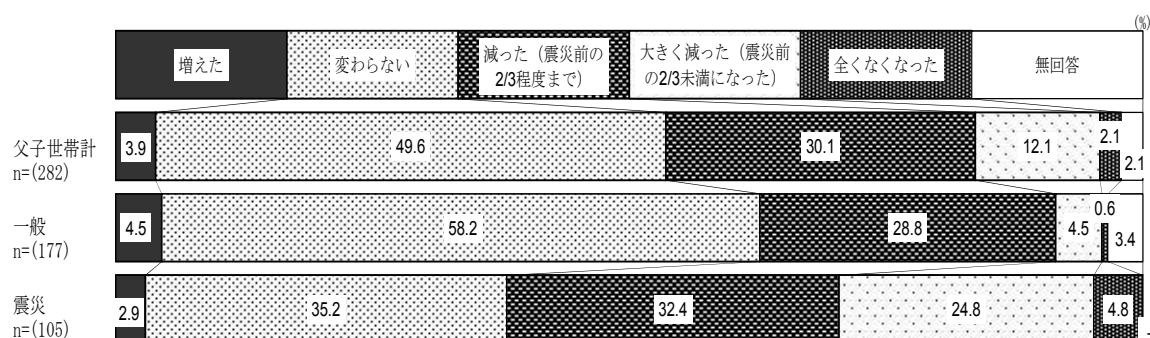
年間収入については、全体では、「200～250万円未満」が13.1%で最も多く、次いで、「300～350万円未満」(12.4%)、「250～300万円未満」(12.1%)、「600万以上」(10.3%)の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」の方が「一般世帯」より年収が高い傾向にある。

IV. 調査結果 父子世帯

⑫東日本大震災後の世帯の年間収入の変化

質問 23 東日本大震災後、世帯の年間収入は変化がありましたか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



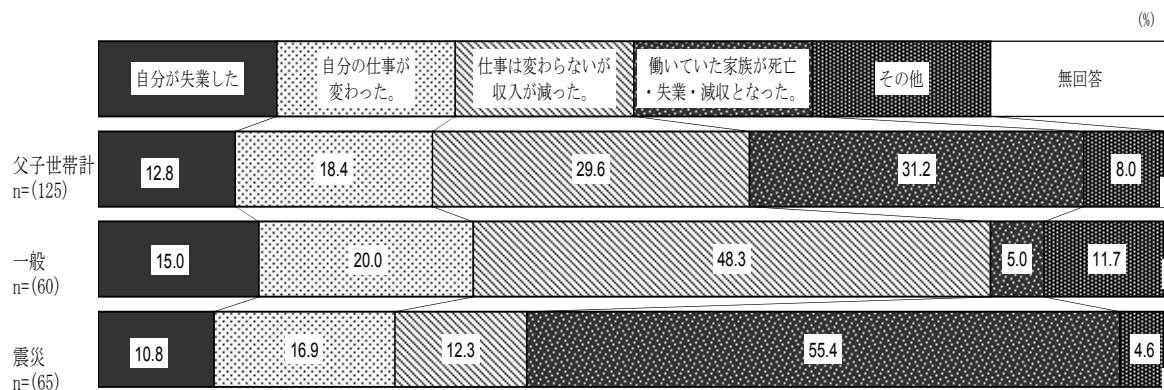
東日本大震災後の世帯の年間収入の変化については、全体では、「変わらない」が 49.6%と最も多く、次いで「減った(震災前の 2/3 程度まで)」(30.1%)、「大きく減った(震災前の 2/3 未満になった)」(12.1%)の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」では「大きく減った(震災前の 2/3 未満になった)」が「一般世帯」を大きく上回っている。

⑬世帯収入が減った理由

【質問 24 は、質問 23 で「3. 減った、5. 全くなくなった」とお答えの方にかがいます。】

質問 24 世帯収入が減った(全くなくなった)主な理由は何ですか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



世帯収入が減った理由は、全体では、「働いていた家族が死亡・失業・減収となった」(31.2%)が最も多く、次いで「仕事は変わらないが収入が減った」(29.6%)、「自分の仕事が変わった」(18.4%)の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」では「働いていた家族が死亡・失業・減収となった」が 5 割強となっている。

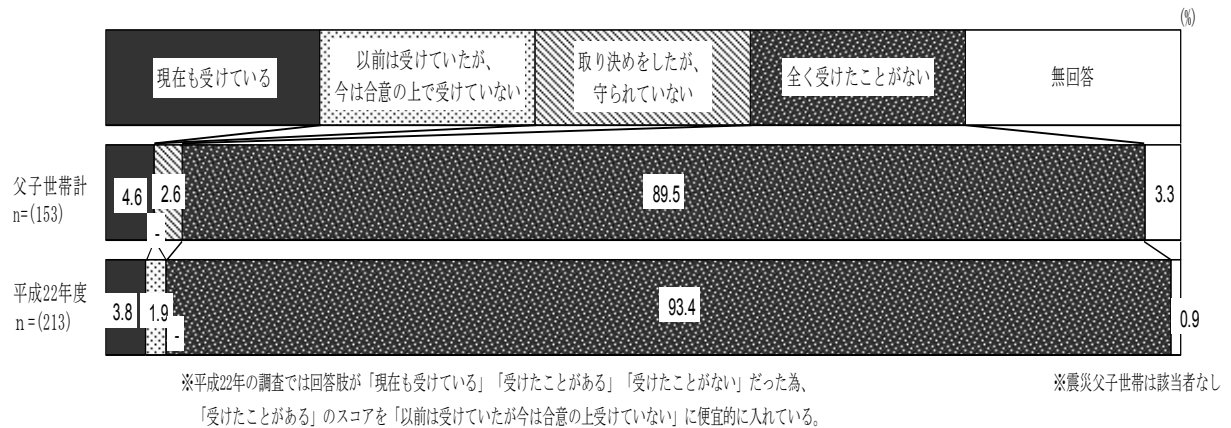
(3) 養育費について

① 養育費の状況

【質問 25～29 は、質問 5 で「4. 離婚」とお答えの方にはうかがいます。】

質問 25 離婚した妻から養育費を受けていますか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

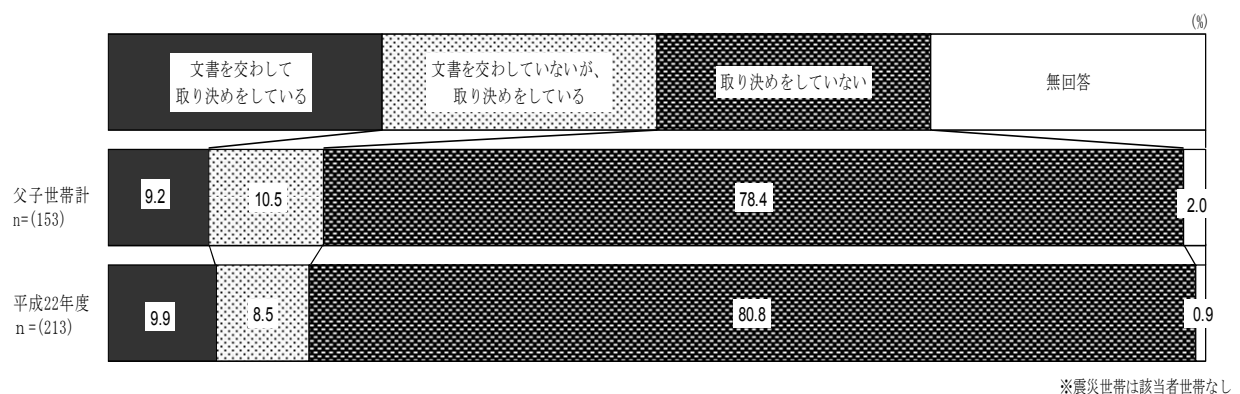


養育費の状況については、全体では「全く受けたことがない」(89.5%)が最も多く、「取り決めたが守られていない」(2.6%)と合わせると、9割以上が養育費を受けていない。一方、「現在も受けている」は4.6%と前回調査(3.8%)とほぼ同様となっている。「震災世帯」の該当世帯はなかった。

② 養育費の取り決め

質問 26 離婚した妻とのあいだに、養育費の取り決めをしていますか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



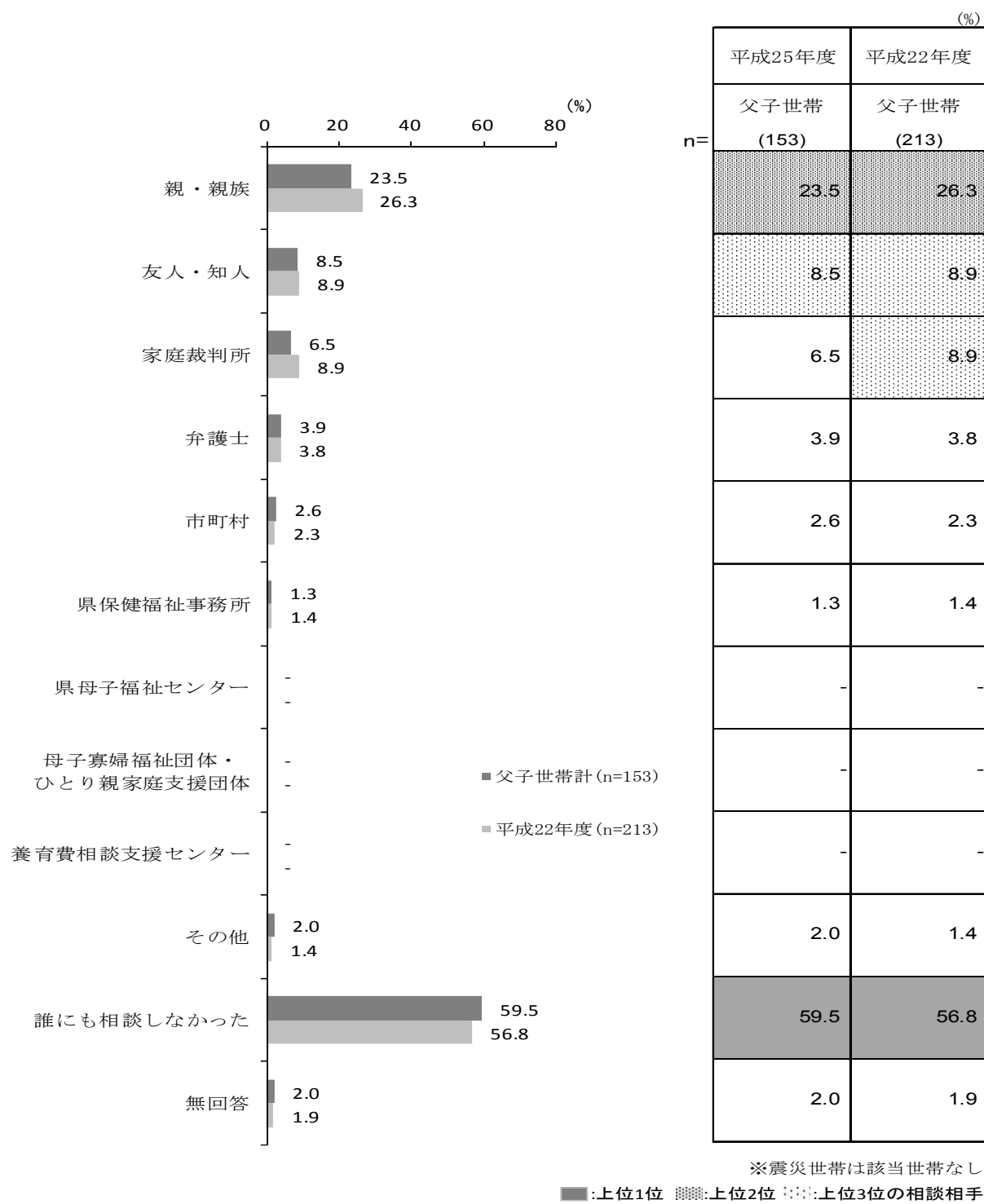
養育費の取り決めについては、全体では「文書を交わして取り決めをしている」が9.2%、「文書を交わしていないが、取り決めをしている」が10.5%と、『取り決めをしている』とする回答は19.7%、2割弱と少ない。一方、「取り決めをしていない」は78.4%であった。

IV. 調査結果 父子世帯

③養育費の相談

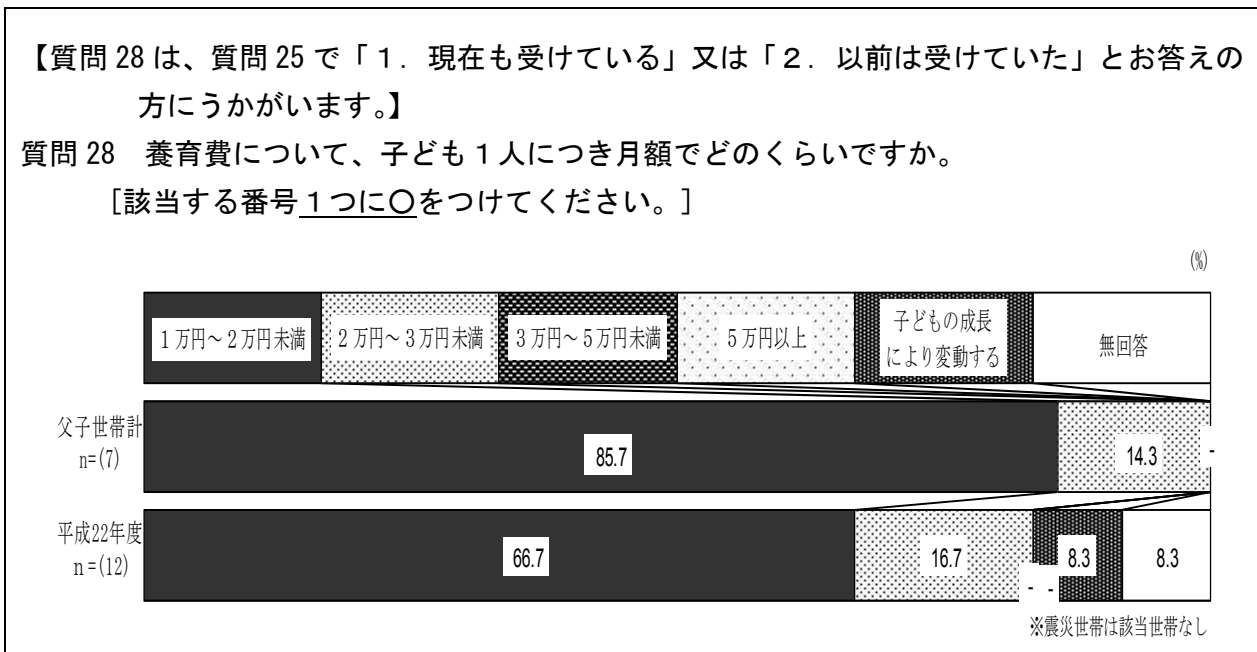
質問 27 離婚の際、又はその後、子どもさんの養育費のことで誰かに相談しましたか。

[該当する番号2つ以内(主なもの)に○をつけてください。]



養育費に関する主な相談相手については、全体で「親・親族」が23.5%で最も多く、以下、「友人・知人」(8.5%)、「家庭裁判所」(6.5%)、「弁護士」(3.9%)の順となっている。一方、「誰にも相談しなかった」は59.5%であった。

④養育費の金額



養育費の金額については、「1万円～2万円未満」が85.7%で最も多く、次いで、「2万円～3万円未満」(14.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「1万円～2万円未満」が19.0%増加し、「3万円以上」が0%となった。

⑤養育費の取り決めしない理由

【質問 29 は、質問 26 で「3. 取り決めをしていない」と答えた方にうかがいます。】

質問 29 養育費について、取り決めをしなかった理由は何ですか。
 [該当する番号 1 つに○をつけてください。]

Reason	平成25年度	平成22年度
取り決めの話し合いを持ちたくなかったから	21.7	22.7
相手に支払う意思や能力がなかったから	52.5	55.2
相手に養育費を請求できると思わなかったから	9.2	10.5
取り決めの話し合いをしたが、まとまらなかったから	4.2	1.2
現在交渉中又は今後交渉する予定	-	-
その他	7.5	7.0
無回答	5.0	3.5

※震災世帯は該当世帯なし
 ■:上位1位 ■■:上位2位 ■■■:上位3位の理由

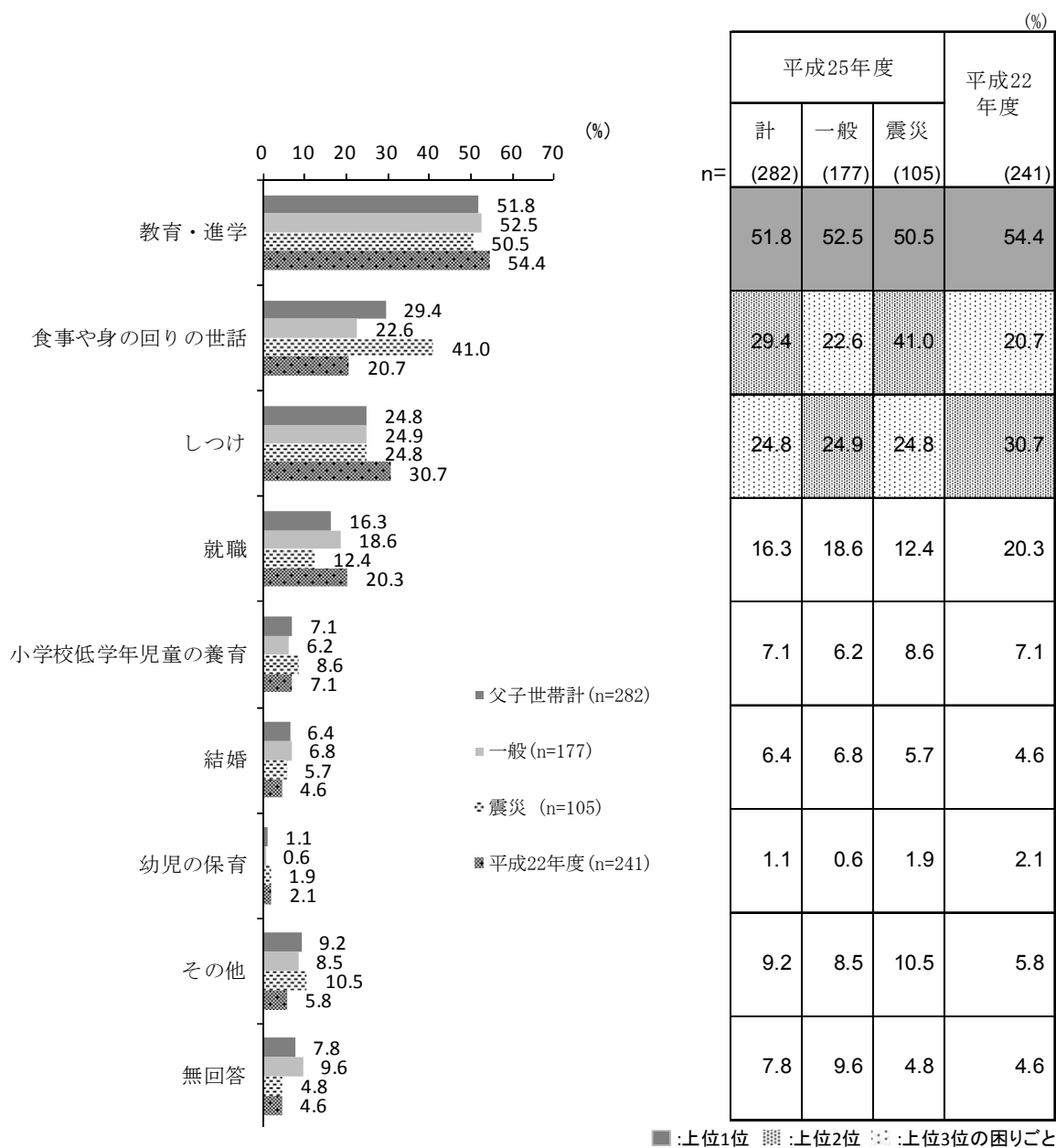
養育費の取り決めをしない理由については、全体で、「相手に支払う意思や能力がなかったから」が52.5%で最も多く、以下、「取り決めの話し合いを持ちたくなかったから」(21.7%)、「相手に養育費を請求できると思わなかったから」(9.2%)、「その他」(7.5%)となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の該当世帯はなかった。

(4) 子どもの状況について

①子どものことで困っていること

質問 30 現在子どもさんのことで困っていること悩んでいることは何ですか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



子どものことで困っていることについては、全体で、「教育・進学」が 51.8%で最も多く、以下、「食事や身の回りの世話」(29.4%)、「しつけ」(24.8%)となっている。

「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「食事や身の回りの世話」は 41.0%で、「一般世帯」の2倍近く多い。

②病気のときの子どもや身の回りの世話

質問 31 あなたが病気の時、子どもさんの世話や、あなたの身の回りの世話は主にどなたに頼みますか。[該当する番号1つ(主なもの)に○をつけてください。]

		n=	同居の親族	別居の親族	友人・知人	近所の人	ホームヘルパー等	家政婦、ベビーシッター等	児童施設などのショートステイ	その他	誰もいない	無回答
平成25年度	父子世帯計	(282)	55.7	26.6	2.5	-	0.4	-	0.4	2.8	10.3	1.4
	一般	(177)	62.1	22.0	1.7	-	0.6	-	0.6	1.7	9.6	1.7
	震災	(105)	44.8	34.3	3.8	-	-	-	-	4.8	11.4	1.0
平成22年度	父子世帯計	(241)	68.9	19.1	0.8	-	0.4	-	-	-	8.7	2.1

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の頼る人

病気のとときに子どもや身の回りの世話をする人については、全体で、「同居の親族」が 55.7% で最も多く、次いで、「別居の親族」(26.6%) の順となっている。一方、「誰もいない」は 10.3% となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」では「別居の親族」の方が、「一般世帯」より多くなっている。

③仕事中の子どもの世話

【質問 32 は、仕事をしている方で、未就学の子どもさんのいる世帯にうかがいます。】

質問 32 あなたが仕事をしている時、子どもさんを世話する人は主に誰ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

		n=	あなた自身	同居の家族	実家、親戚	友人・知人	近所の人	保育所(無認可、事業所内保育所含む)	幼稚園	ベビーホテル	世話をする人がいない(自分の家に子どもだけにいる)	特に決まっていない	その他	保育所入所希望だが、入所できない状況である	無回答
平成25年度	父子世帯計	(24)	-	41.7	4.2	-	-	33.3	-	-	4.2	4.2	4.2	-	8.3
	一般	(12)	-	33.3	-	-	-	41.7	-	-	-	8.3	-	-	16.7
	震災	(12)	-	50.0	8.3	-	-	25.0	-	-	8.3	-	8.3	-	-
平成22年度	父子世帯計	(26)	3.8	38.5	-	-	-	42.3	15.4	-	-	-	-	-	-

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の子どもを世話する人

仕事中に就学前の子どもの世話をする人については、全体で「同居の家族」(41.7%) が最も多く、次いで「保育所(無認可、事業所内保育所含む)」(33.3%) となっている。

「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「保育所(無認可、事業所内保育所含む)」、は「一般世帯」より少なく、「同居の家族」は多い。

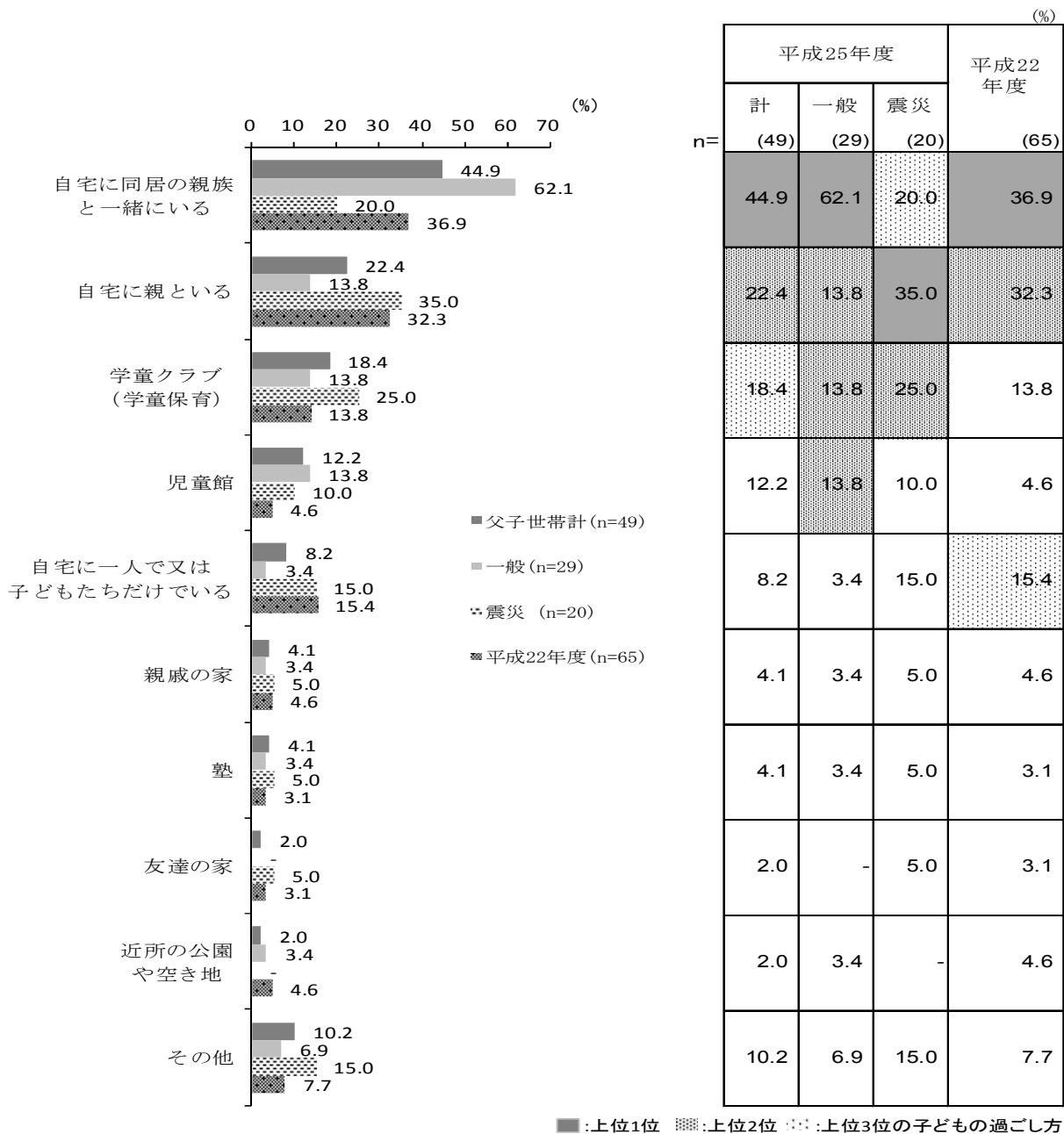
IV. 調査結果 父子世帯

④学校が終わってからの子どもの過ごし方

【質問 33 は、小学校 1 年生から 3 年生の子どもさんのいる世帯にうかがいます。】

質問 33 子どもさんは、学校が終わってから主にどのように過ごしますか。

[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]



放課後の小学校1～3年生の子どもさんの過ごし方については、全体で、「自宅に同居の親族と一緒にいる」(44.9%)が最も多く、次いで「自宅に親といる」(22.4%)、「学童クラブ(学童保育)」(18.4%)、「児童館」(12.2%)の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」は「自宅に親といる」、「学童クラブ(学童保育)」、「自宅に1人で又は子どもたちだけでいる」の割合が「一般世帯」より多く、「一般世帯」は「自宅に同居の親族と一緒にいる」が「震災世帯」より多い。

⑤子どもの進学に関する考え

質問 34 子どもさんの進学はどこまでを考えていますか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

			(%)						
			中学校	高校	各種専門 学校	短大・大学	子どもの意 志に任せる	その他	無回答
平成25年度	父子世帯計	(282)	-	23.4	8.9	27.3	29.8	1.1	9.6
	一般	(177)	-	30.5	8.5	18.1	32.2	1.1	9.6
	震災	(105)	-	11.4	9.5	42.9	25.7	1.0	9.5
平成22年度	父子世帯計	(241)	-	31.1	5.4	24.9	33.6	0.4	4.6

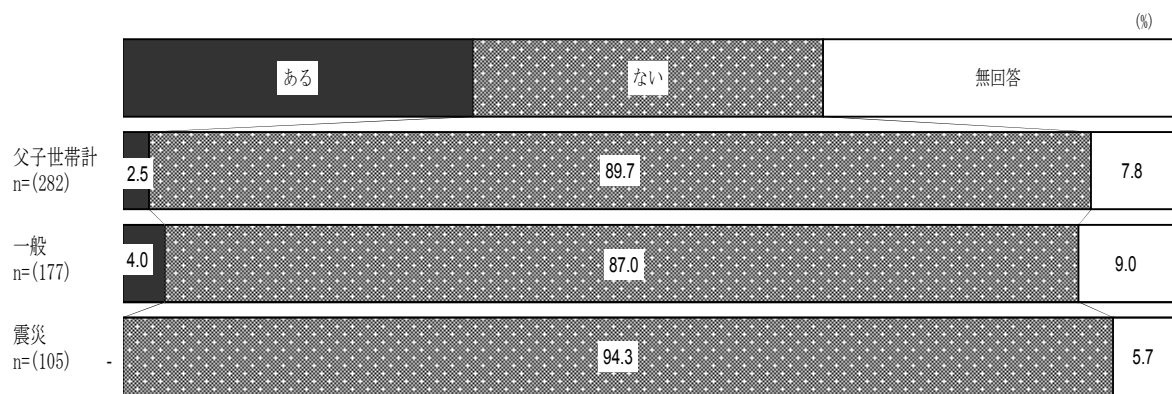
■:上位1位 ▨:上位2位 ▩:上位3位の子どもの進路

子どもの進学に関する考えについては、全体では「子どもの意志に任せる」が29.8%で最も多く、以下、「短大・大学」(27.3%)「高校」(23.4%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「短大・大学」の割合が最も多く、「一般世帯」を24.8%上回っている。

(5) 福祉制度の利用状況

①母子家庭等就業・自立支援センターの利用

質問 35 母子福祉センター(母子家庭等就業・自立支援センター)を利用したことがありますか。[該当する番号1つに○をつけてください。]

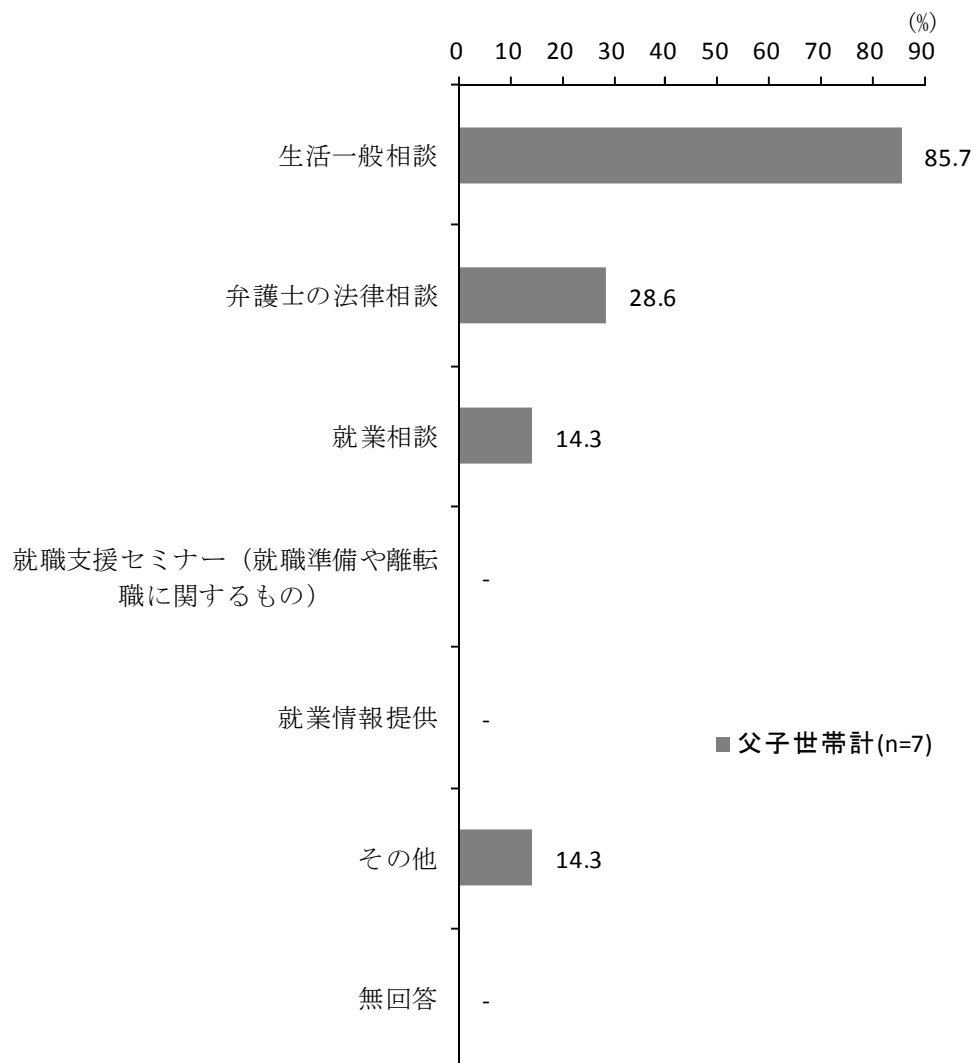


母子家庭等就業・自立支援センターの利用経験については、全体の利用経験者は 2.5%、非利用者は 89.7%となっている。

②利用した支援内容

【質問 36 は、質問 35 で「1. ある」とお答えの方にかがいます。】

質問 36 今まで利用されたことがある母子家庭等就業・自立支援センターの支援内容は何ですか。[該当する番号すべてに○をつけてください。]



※震災父子世帯は該当者なし・
平成22年度調査は該当質問なしの為、グラフは非掲載

利用したことのある母子家庭等就業・自立支援センターの支援内容については、全体で「生活一般相談」(85.7%)が最も多く、次いで「弁護士の法律相談」(28.6%)、「就業相談」(14.3%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は該当世帯がない。

IV. 調査結果 父子世帯

③利用しない理由

【質問 37 は、質問 35 で「2. ない」とお答えの方にかがいます。】

質問 37 利用しなかった理由は何ですか。

[該当する番号 1 つに ○ をつけてください。]

(%)

n=		事業を知らなかった、父子家庭も対象になると思わなかったから	知っていたが近くなかったから	知っていたが時間がなかったから	知っていたが必要なかったから	その他	無回答
父子世帯計	(253)	63.6	1.6	7.9	22.5	2.8	1.6
一般	(154)	70.1	1.3	6.5	19.5	1.3	1.3
震災	(99)	53.5	2.0	10.1	27.3	5.1	2.0

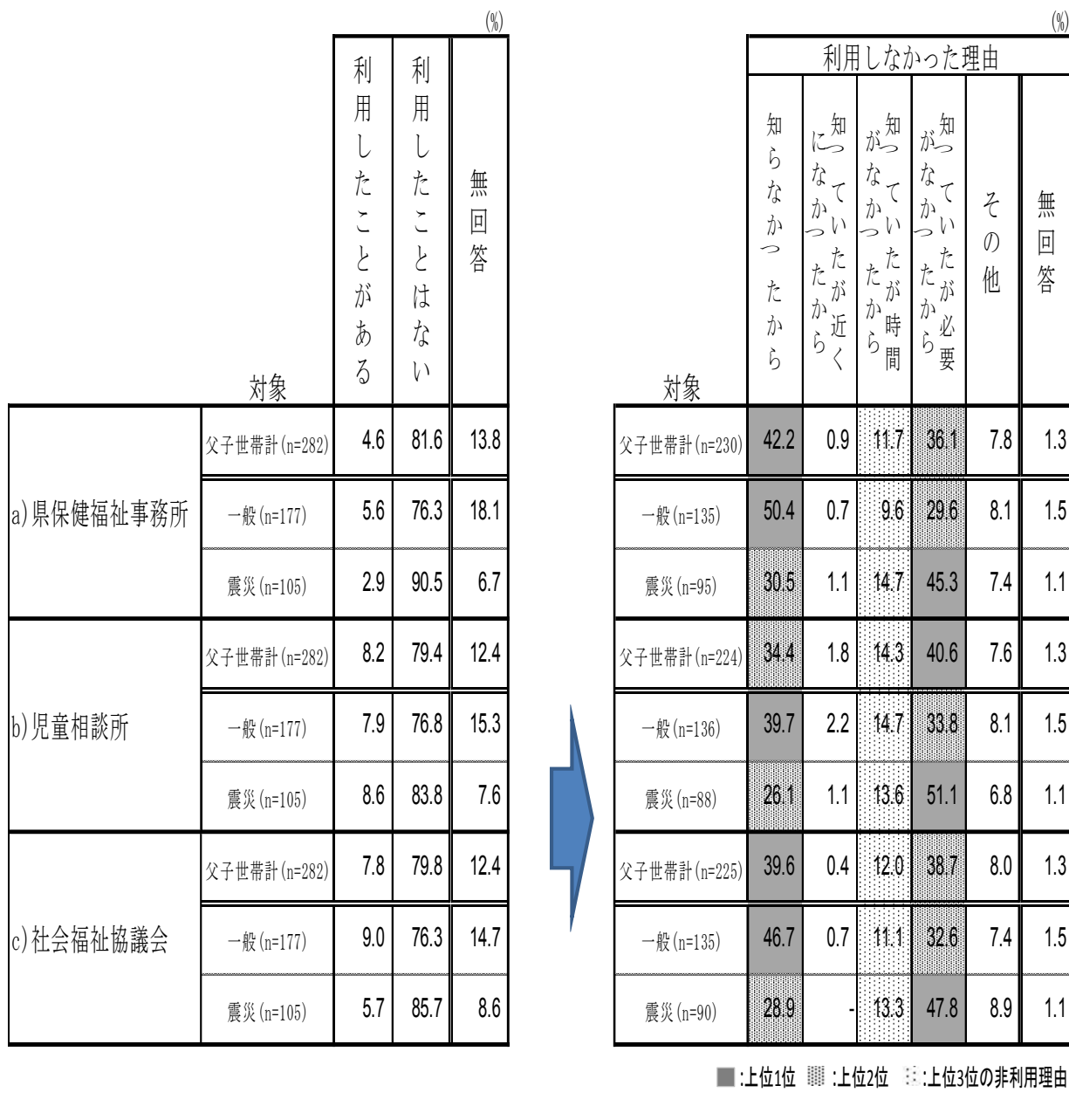
■:上位1位 ■■■:上位2位 ■■■■:上位3位の非利用理由

母子家庭等就業・自立支援センターを利用しなかった理由については、全体で、「事業を知らなかった、父子家庭も対象になると思わなかったから」(63.6%)が最も多く、次いで「知っていたが必要なかったから」(22.5%)、「知っていたが時間がなかったから」(7.9%)の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」の方が、「知っていたが必要なかったから」の割合が「一般世帯」より多い。

④利用した相談機関と利用しなかった理由

質問 38 あなたは下記の相談機関を利用したことがありますか。また利用していない相談機関については、利用しなかった理由をお知らせ下さい。

[各相談機関についてそれぞれ該当する番号1つに○をつけてください。]



各相談機関の利用経験は、いずれの相談機関も利用経験は少ない結果となった。

利用しなかった理由として、全体では「知らなかったから」という理由が4割前後と最も高く、「b)児童相談所」は「知っていたが必要なから」という理由が40.6%と最も高かった。「一般」、「震災」別では「震災世帯」では各施設で「知っていたが必要なから」という非利用理由が「一般世帯」より高い。

⑤利用したい相談機関と利用しない理由

質問 39 今後(今後も)あなたは下記の相談機関を利用したいと思いますか。また利用しないと回答された相談機関については、利用しない理由をお知らせ下さい。

[各相談機関についてそれぞれ該当する番号1つに○をつけてください。]

対象		利用しない理由 (%)		
		近くにないから 利用したいが 時間がないから	必要がないから	わからない
a) 県母子福祉センター	父子世帯計 (n=282)	12.8	70.2	17.0
	一般 (n=177)	12.4	66.1	21.5
	震災 (n=105)	13.3	77.1	9.5
b) 県保健福祉事務所	父子世帯計 (n=282)	15.2	68.1	16.7
	一般 (n=177)	13.6	65.5	20.9
	震災 (n=105)	18.1	72.4	9.5
c) 児童相談所	父子世帯計 (n=282)	13.5	70.2	16.3
	一般 (n=177)	13.0	67.2	19.8
	震災 (n=105)	14.3	75.2	10.5
d) 社会福祉協議会	父子世帯計 (n=282)	16.0	68.4	15.6
	一般 (n=177)	15.8	65.5	18.6
	震災 (n=105)	16.2	73.3	10.5

対象		利用しない理由 (%)				
		近くにないから 利用したいが 時間がないから	必要がないから	わからない	無回答	
a) 県母子福祉センター	父子世帯計 (n=198)	2.5	16.7	37.9	41.9	1.0
	一般 (n=117)	2.6	16.2	35.0	44.4	1.7
	震災 (n=81)	2.5	17.3	42.0	38.3	-
b) 県保健福祉事務所	父子世帯計 (n=192)	3.1	16.1	38.5	40.1	2.1
	一般 (n=116)	3.4	16.4	33.6	43.1	3.4
	震災 (n=76)	2.6	15.8	46.1	35.5	-
c) 児童相談所	父子世帯計 (n=198)	1.5	14.6	41.4	39.9	2.5
	一般 (n=119)	0.8	15.1	37.8	42.9	3.4
	震災 (n=79)	2.5	13.9	46.8	35.4	1.3
d) 社会福祉協議会	父子世帯計 (n=193)	1.6	15.5	39.4	41.5	2.1
	一般 (n=116)	0.9	15.5	34.5	45.7	3.4
	震災 (n=77)	2.6	15.6	46.8	35.1	-

■ :上位1位 ▨ :上位2位 ▩ :上位3位の非利用理由

各相談機関の今後の利用については、全体で「利用しない」という回答が7割前後であった。

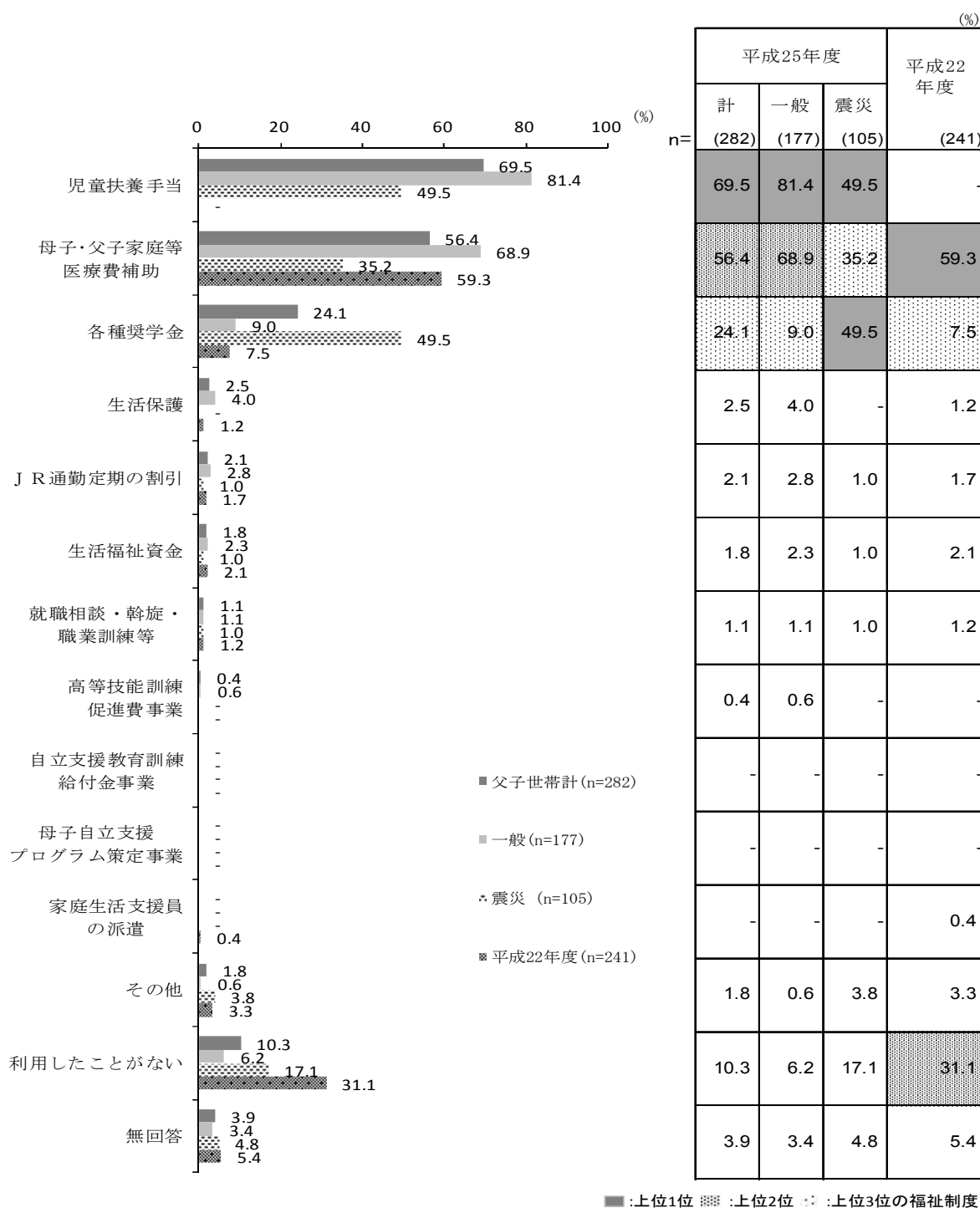
「利用したい」では「d)社会福祉協議会」が16.0%で最も高く、次いで「b)県保健福祉事務所」(15.2%)「c)児童相談所」(13.5%)、「a)県母子福祉センター」(12.8%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「b)県保健福祉事務所」利用意向が最も高かった。

利用しない理由は、各相談機関いずれも、「必要がないから」「わからない」が多い。

⑥利用した福祉制度

質問 40 あなたが利用した（利用している）福祉制度は何ですか。

[該当する番号5つ以内（主なもの）に○をつけてください。]



利用したことがある福祉制度については、全体では「児童扶養手当」(69.5%)で最も多く、次いで、「母子・父子家庭等医療費補助」(56.4%)、「各種奨学金」(24.1%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「児童扶養手当」「各種奨学金」が最も多く、次いで、「母子・父子家庭等医療費補助」の順となっている。

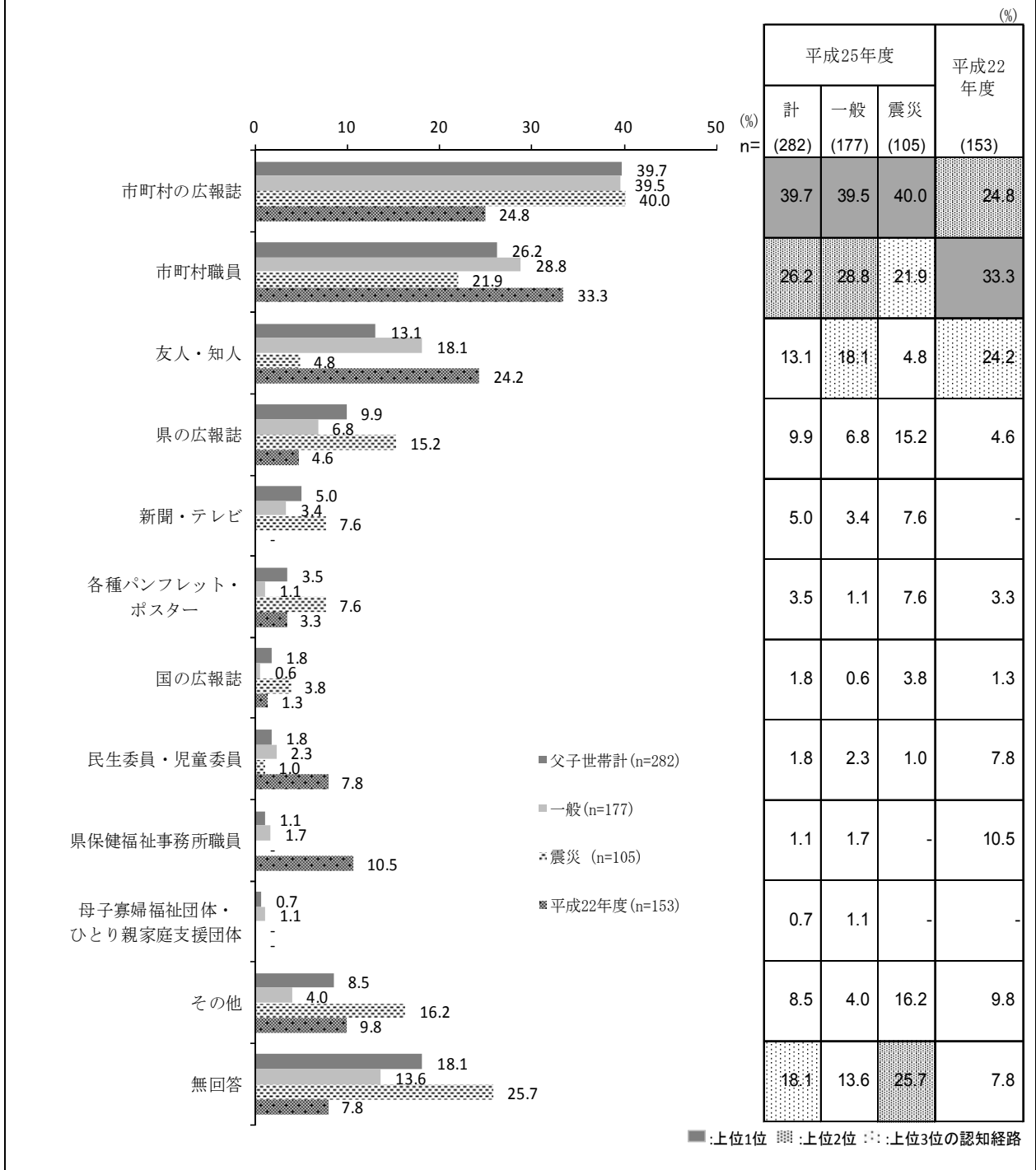
IV. 調査結果 父子世帯

⑦福祉制度を知ったきっかけ

【質問 41 は、質問 40 の福祉制度を1つでも利用した（利用している）方にうかがいます。】

質問 41 どのようにして福祉制度を知りましたか。

[該当する番号すべてに○をつけてください。]

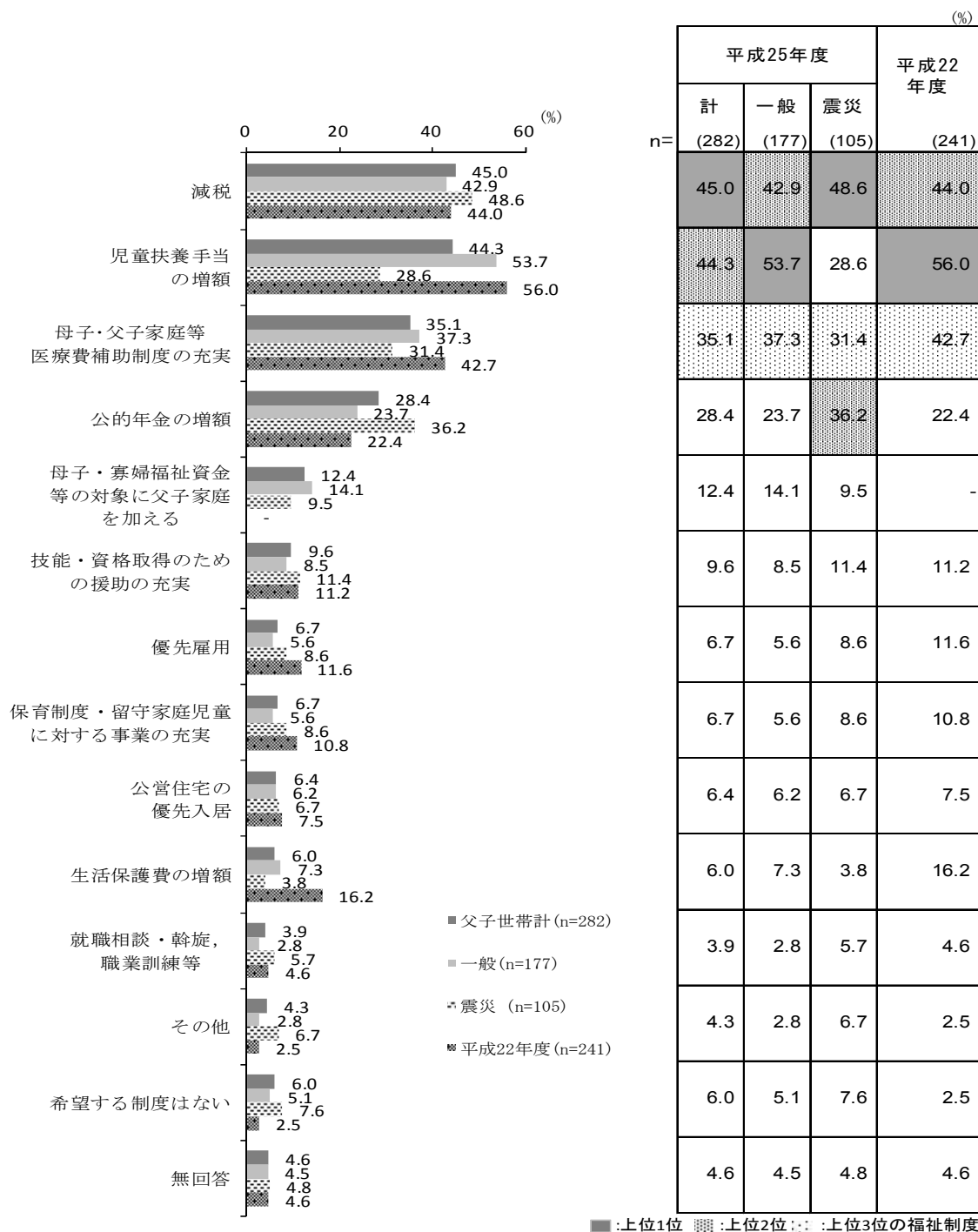


福祉制度を知ったきっかけについては、全体では、「市町村の広報誌」が 39.7%で最も多く、次いで、「市町村職員」(26.2%)「友人・知人」(13.1%)、「県の広報誌」(9.9%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「市町村職員」「友人・知人」の割合が「一般世帯」より少ない。

⑧希望する福祉制度

質問 42 あなたが希望する福祉制度は何ですか。

[該当する番号3つ以内に○をつけてください。]



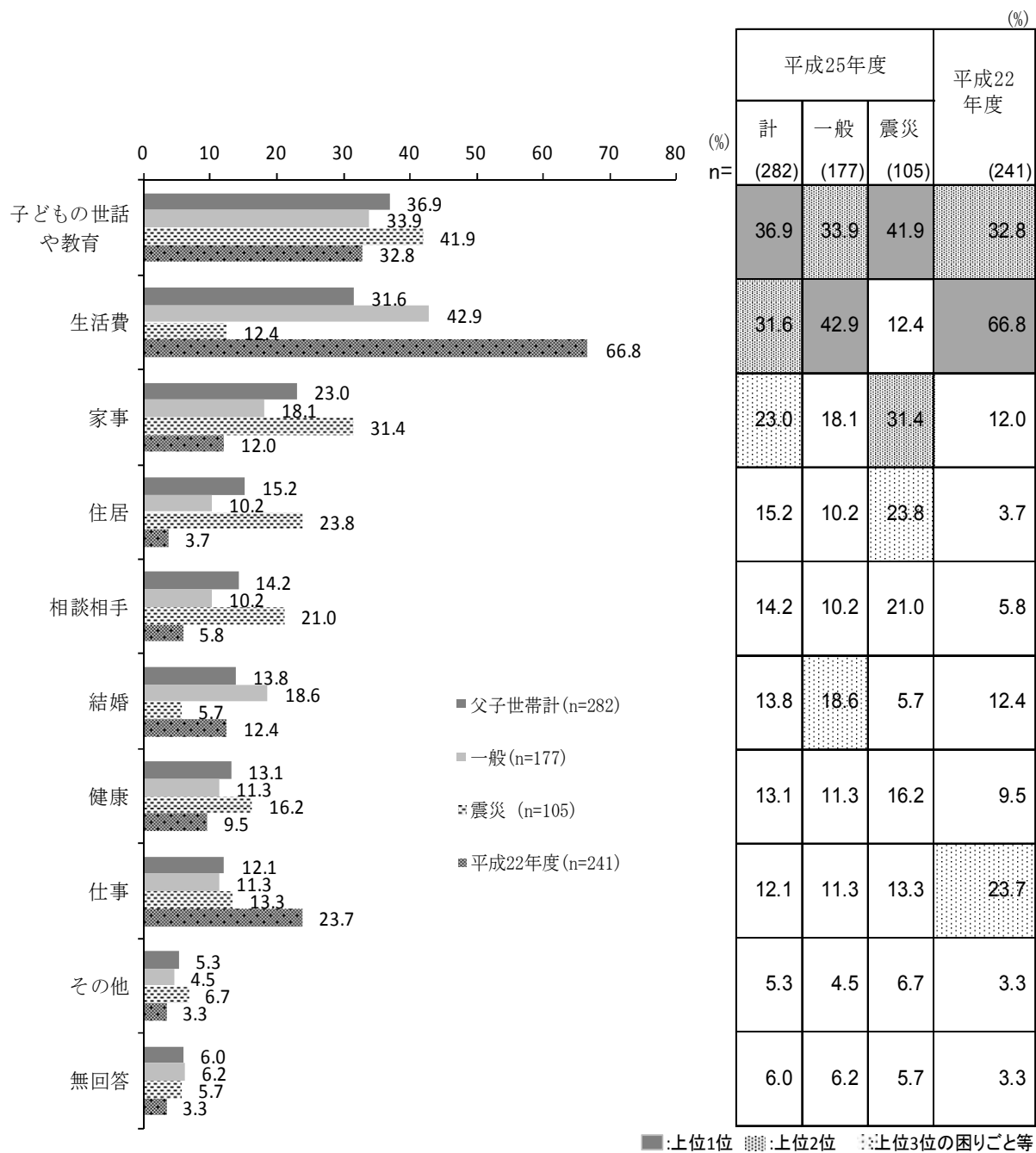
希望する福祉制度については、全体では、「減税」が45.0%と最も多く、次いで、「児童扶養手当の増額」(44.3%)「母子・父子家庭等医療費補助制度の充実」(35.1%)、「公的年金の増額」(28.4%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「一般世帯」の「児童扶養手当の増額」の割合が「震災世帯」より25.1%多く、「震災世帯」は「公的年金の増額」が「一般世帯」より12.5%多い。

(6) 困りごとの状況

①-1 現在困っていること

質問 43 現在あなたが困っていること悩んでいることは何ですか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



現在困っていることについては、全体では「子どもの世話や教育」が 36.9%で最も多く、次いで、「生活費」(31.6%)「家事」(23.0%)、となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「子どもの世話や教育」が 41.9%と最も高く、次いで「家事」(31.4%)で、いずれの割合も「一般世帯」を大きく上回っている。

①-2 現在困っていること<家族形態別>

		n=	生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	結婚	子どもの世話や教育	その他	無回答
父子世帯	父子世帯計	(282)	31.6 (2)	12.1 (8)	15.2 (4)	23.0 (3)	13.1 (7)	14.2 (5)	13.8 (6)	36.9 (1)	5.3 (9)	6.0
	核家族以外	(198)	31.8 (2)	10.6 (8)	12.6 (7)	19.2 (3)	14.1 (6)	16.2 (5)	16.7 (4)	36.4 (1)	4.5 (9)	6.1
	核家族	(84)	31.0 (3)	15.5 (5)	21.4 (4)	32.1 (2)	10.7 (6)	9.5 (7)	7.1 (8)	38.1 (1)	7.1 (8)	6.0
	一般計	(177)	42.9 (1)	11.3 (5)	10.2 (7)	18.1 (4)	11.3 (5)	10.2 (7)	18.6 (3)	33.9 (2)	4.5 (9)	6.2
	核家族以外	(134)	39.6 (1)	9.0 (8)	11.2 (7)	16.4 (4)	11.9 (5)	11.9 (5)	20.9 (3)	30.6 (2)	3.7 (9)	7.5
	核家族	(43)	53.5 (1)	18.6 (4)	7.0 (7)	23.3 (3)	9.3 (6)	4.7 (9)	11.6 (5)	44.2 (2)	7.0 (7)	2.3
	震災計	(105)	12.4 (7)	13.3 (6)	23.8 (3)	31.4 (2)	16.2 (5)	21.0 (4)	5.7 (9)	41.9 (1)	6.7 (8)	5.7
	核家族以外	(64)	15.6 (5)	14.1 (7)	15.6 (5)	25.0 (2)	18.8 (4)	25.0 (2)	7.8 (8)	48.4 (1)	6.3 (9)	3.1
	核家族	(41)	7.3 (7)	12.2 (5)	36.6 (2)	41.5 (1)	12.2 (5)	14.6 (4)	2.4 (9)	31.7 (3)	7.3 (7)	9.8

■ : 父子世帯計より5%以上高い項目
 ▨ : 父子世帯計より5%以上低い項目
 ()内の数字は各項目の順位(各世帯毎)

家族形態別にみると、「父子世帯計」では「核家族」世帯の「住居」「家事」の割合が「核家族以外」世帯を上回っている。

「一般」「震災」別に「核家族以外」と「核家族」で、差が顕著な困りごとは下記の通りである。

- ・一般父子世帯・・・「生活費」、「子どもの世話や教育」、「仕事」、「家事」は「核家族」、「結婚」、「相談相手」は「核家族以外」の方が高い。
- ・震災父子世帯・・・「家事」、「住居」は「核家族」、「子どもの世話や教育」、「相談相手」、「健康」「結婚」は「核家族以外」の方が高い。

IV. 調査結果 父子世帯

①-3 現在困っていること<未就学児、小学生の有無別>

			(%)									
			生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	結婚	子どもの世話や教育	その他	無回答
n=												
父子世帯	父子世帯計	父子世帯計 (282)	31.6 (2)	12.1 (8)	15.2 (4)	23.0 (3)	13.1 (7)	14.2 (5)	13.8 (6)	36.9 (1)	5.3 (9)	6.0
		未就学児、小学生あり (123)	34.1 (2)	13.0 (6)	14.6 (5)	19.5 (3)	11.4 (8)	13.0 (6)	18.7 (4)	47.2 (1)	4.1 (9)	4.1
		未就学児、小学生なし (159)	29.6 (1)	11.3 (7)	15.7 (4)	25.8 (3)	14.5 (6)	15.1 (5)	10.1 (8)	28.9 (2)	6.3 (9)	7.5
	一般	一般計 (177)	42.9 (1)	11.3 (5)	10.2 (7)	18.1 (4)	11.3 (5)	10.2 (7)	18.6 (3)	33.9 (2)	4.5 (9)	6.2
		未就学児、小学生あり (79)	45.6 (1)	10.1 (7)	15.2 (4)	12.7 (5)	10.1 (7)	11.4 (6)	24.1 (3)	39.2 (2)	5.1 (9)	3.8
		未就学児、小学生なし (98)	40.8 (1)	12.2 (5)	6.1 (8)	22.4 (3)	12.2 (5)	9.2 (7)	14.3 (4)	29.6 (2)	4.1 (9)	8.2
	震災	震災計 (105)	12.4 (7)	13.3 (6)	23.8 (3)	31.4 (2)	16.2 (5)	21.0 (4)	5.7 (9)	41.9 (1)	6.7 (8)	5.7
		未就学児、小学生あり (44)	13.6 (5)	18.2 (3)	13.6 (5)	31.8 (2)	13.6 (5)	15.9 (4)	9.1 (8)	61.4 (1)	2.3 (9)	4.5
		未就学児、小学生なし (61)	11.5 (6)	9.8 (7)	31.1 (1)	31.1 (1)	18.0 (5)	24.6 (4)	3.3 (9)	27.9 (3)	9.8 (7)	6.6

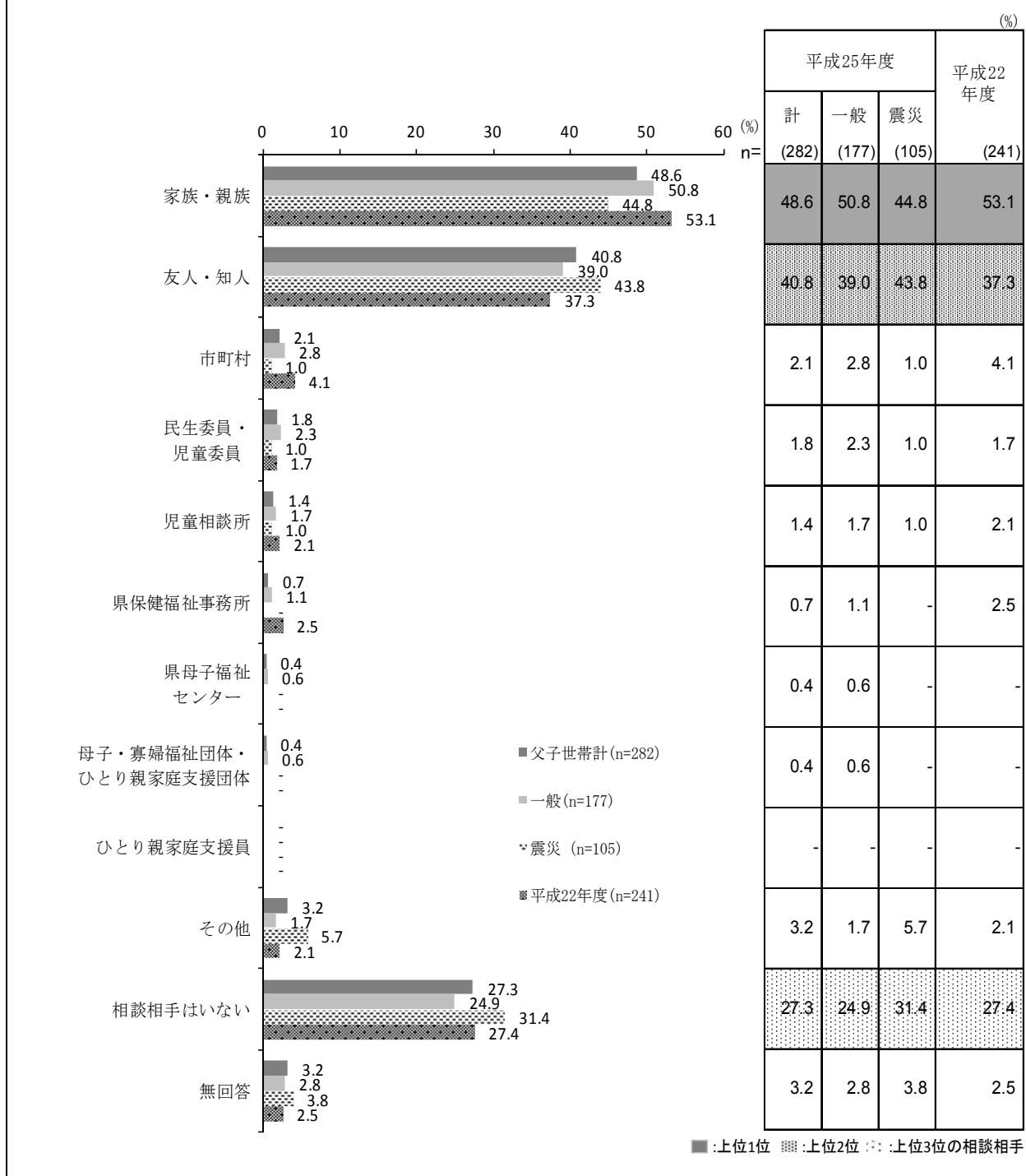
■ : 父子世帯計より5%以上高い項目
 ▨ : 父子世帯計より5%以上低い項目
 ()内の数字は各項目の順位(各世帯毎)

「未就学児、小学生の有無」別にみると、「未就学児、小学生のあり」の世帯はいずれも、「子どもの世話や教育」の割合が「未就学児、小学生なし」の世帯より多く、特に「震災世帯」で顕著で、その中でも「父子震災世帯」は6割を超える。

②相談相手

質問 44 心配ごと等の相談は誰（どこ）にしていますか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



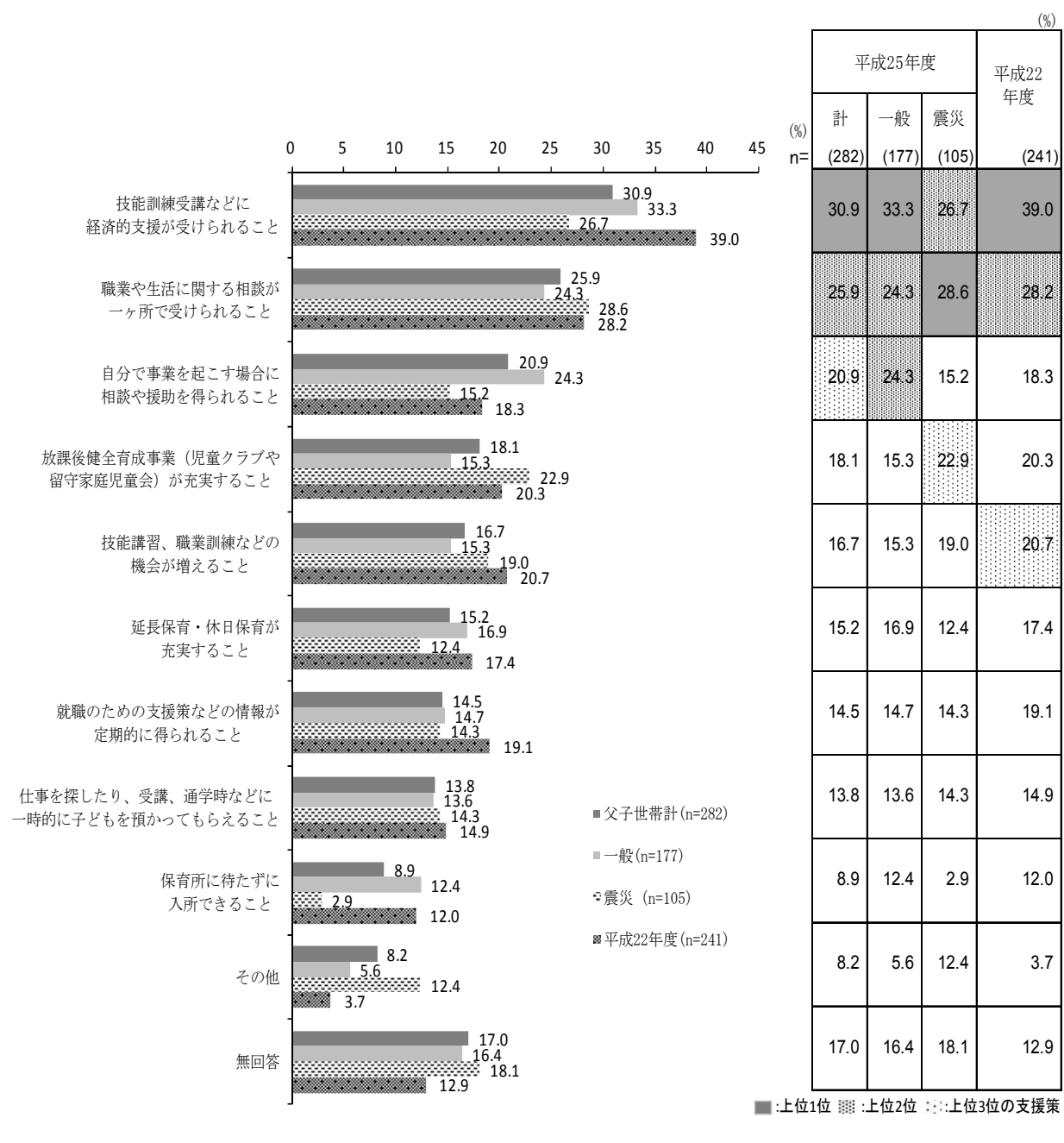
心配ごと等の相談相手については、全体では「家族・親族」(48.6%)、「友人・知人」(40.8%)の割合が高く、「一般世帯」「震災世帯」でも同様の傾向である。

なお、「相談相手はいない」人も全体で 27.3%おり、「一般世帯」よりも「震災世帯」の方が多。

IV. 調査結果 父子世帯

③問題解決のための支援策

質問 45 父子世帯の方のよりよい就職や仕事の問題解決のために、どのような支援策が必要だと思いますか。[該当する番号3つ以内（主なもの）に○をつけてください。]



問題解決のための支援策については、全体では「技能訓練受講などに経済的支援が受けられること」が30.9%で最も多く、次いで、「職業や生活に関する相談が一ヶ所で受けられること」（25.9%）、「自分で事業を起こす場合に相談や援助を得られること」（20.9%）、「放課後健全育成事業（児童クラブや留守家庭児童会）が充実すること」（18.1%）、「技能講習、職業訓練などの機会が増えること」（16.7%）の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「職業や生活に関する相談が一ヶ所で受けられること」、「放課後健全育成事業（児童クラブや留守家庭児童会）が充実すること」の割合が「一般世帯」を上回っている。